

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れにより行う。

1つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきかなどの評価を行う。

もう1つの流れとして、ダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設などが十分に利用されているものとなっているか、または逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているかなどの評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針に従い、大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。

検討手順は図 7.1.2-1に示すとおりである。

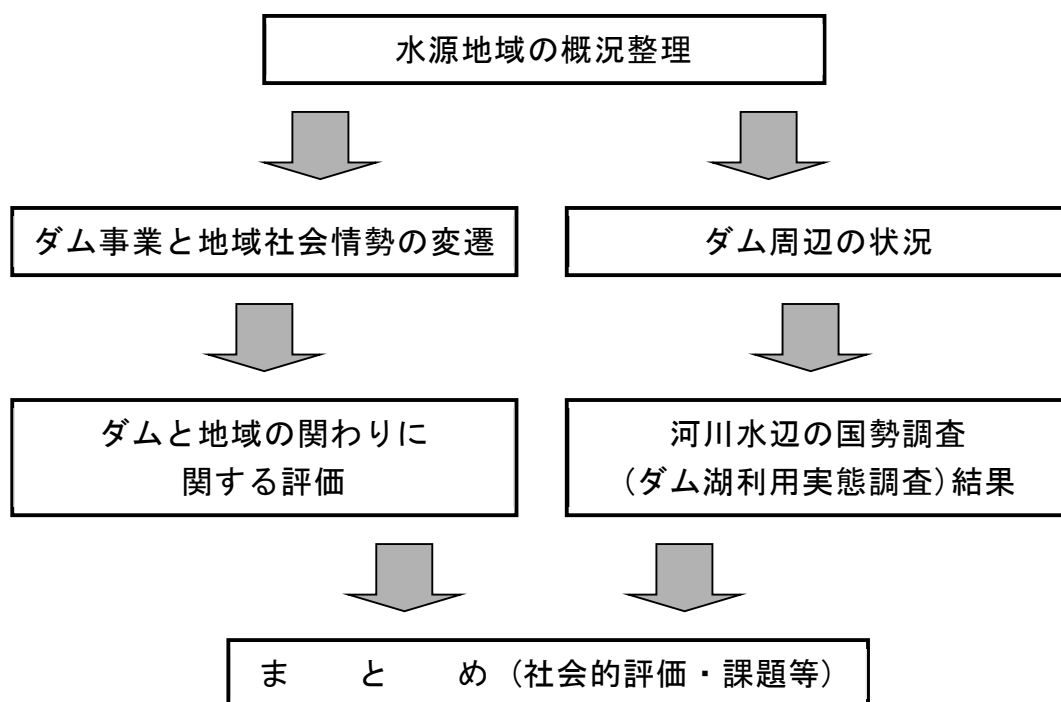


図 7.1.2-1 検討手順

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等、ダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会情勢の変遷

周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の関わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムと関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わり

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。

さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近5カ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダム周辺施設の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

また、観光入込客数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等について整理する。

また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダム及びダム周辺の利用状況に関する評価結果をまとめ、ダム及びダム周辺の特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめる。

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 青蓮寺ダム流域関連自治体の人口・世帯数の推移

青蓮寺ダム水源地域は三重県、奈良県の2県に跨り、名張市（三重県）、曾爾村（奈良県）、御杖村（奈良県）の各自治体が立地している。

名張市の人口は昭和年代から大阪都市圏のベッドタウンとして人口が急速に増加したが、平成12年をピークに以降は減少に転じている。

曾爾村、御杖村は昭和55年から減少傾向が続いている。流域関連自治体の世帯数は継続的に増加傾向が続いている。

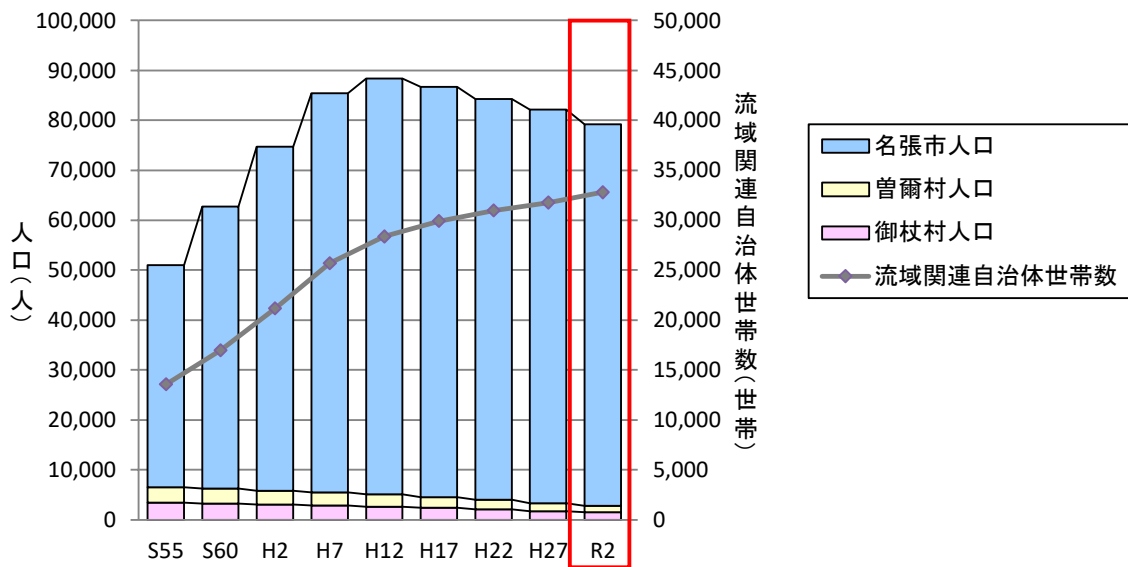


図 7.2.1-1 青蓮寺ダム流域関連自治体の人口の推移

【出典：国勢調査結果（総務省統計局）】

就業者割合は、第1次産業が減少、第2次産業は微減している。第3次産業は増加の傾向が続いている。

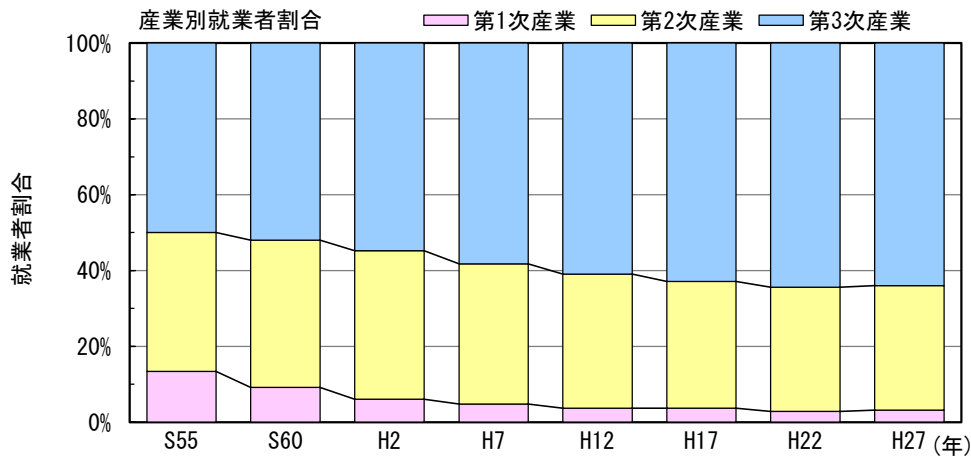
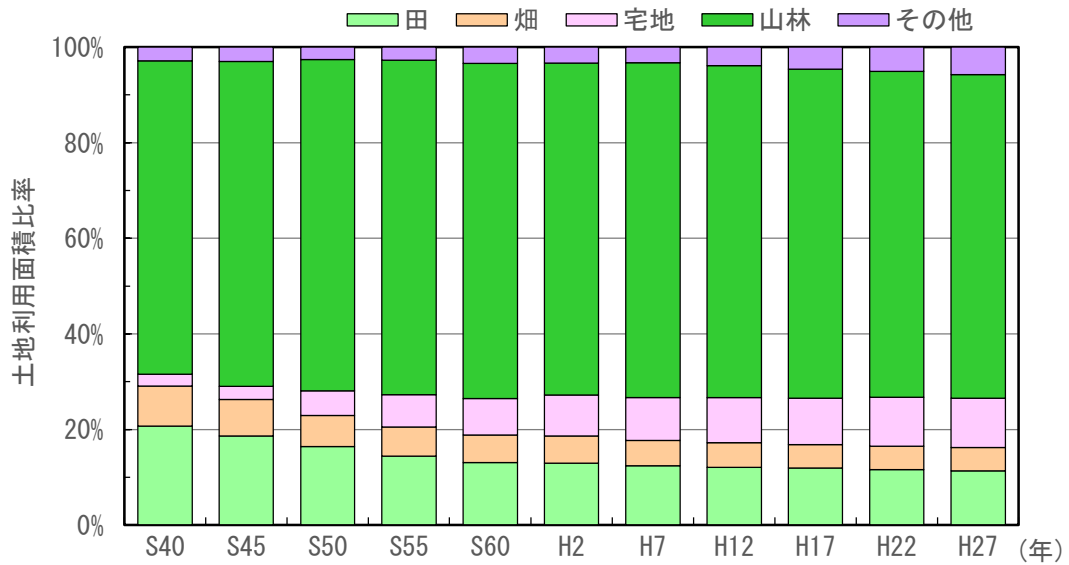


図 7.2.1-2 青蓮寺ダム流域関連自治体の就業者割合の推移

【出典：国勢調査結果（総務省統計局）】

(2) 土地利用と産業

青蓮寺ダム流域関連自治体の水源地域の土地利用は山林の占める比率が高く、田、畑が減少傾向にあり、宅地面積がやや増加傾向にある。



注) 課税対象の私有地を対象とする資料に基づく。

図 7.2.1-3 流域関連自治体の土地利用面積の割合

【出典：奈良県統計年鑑、名張市統計書】

曾爾村、御杖村は比較的標高が高い特性を活かし、高冷地野菜の栽培を行っている。両村に共通した作物はトマト、ホウレンソウである。また、広大な森林面積を活用し、両村とも林業が行われている。

名張市では特産品として酒、組紐、伊賀牛、伊賀焼などがある。

曾爾村では特産品として香落漬、おかめ味噌・玄米味噌・麦味噌、ヤーコン、ミズナなどがある。

御杖村では特産品として自然薯、しし肉、山菜、わさび、アマゴ、アユなどがある。

(3) 観光入込客数

青蓮寺ダム流域関連自治体の近年の観光入込客数を以下に示す。

名張市には赤目四十八滝をはじめ様々な観光資源があり、平成31年に策定した「名張市観光戦略【2019改定版】」など、観光客数の増加を図っており、令和2年度にはおよそ81万人の観光客が訪れている。

曾爾村には秋のススキが美しい曾爾高原を中心に令和2年度にはおよそ38万人の観光客が、御杖村には、三峰山霧氷祭り、みつえ青少年旅行村などにおよそ7万人の観光客が訪れている。

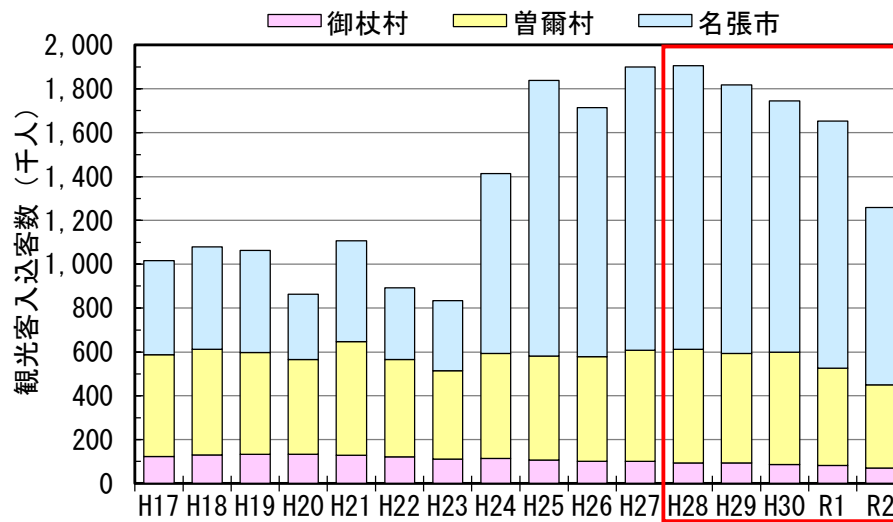


図 7.2.1-4 青蓮寺ダム流域関連自治体の観光入込客数

【出典：「三重県観光統計資料」、曾爾村 企画観光係、御杖村 むらづくり振興課での聞き取り】



図 7.2.1-5 観光ガイドブック（御杖村）



図 7.2.1-6 観光ガイドブック（曾爾村）

観光まちづくり

- ・あらゆる主体が連携
これまで観光と緑のなかつた方々も
- ・地域の活用
ないものねだりから あるもの探しへ
- ・産業振興と雇用創出
まちの元気と活力につながる
- ・若者の移住定住
このまちに住みたい、住み続けたい
- ・地域への愛着
生まれ育ったこのまちが大好き
- ・高齢者の生きがい
担い手となる喜びと健康増進 など

「訪れてよし」「住んでよし」「招いてよし」の観光都市 名張

- まちぐるみの「おもてなし」で、観光客がまち全体を好きになってしまうような、「訪れてよし」の観光都市を目指します。
- 市民も観光客も、まさに「住んでよし」と思えるような、何度でも訪れたい観光都市を目指します。
- 市民が自分たちのまちに誇りと愛着を重ねていけるような、まさに「招いてよし」とお勧めできる観光都市を目指します。



【出典名張市観光戦略【2019改定版】】

図 7.2.1-7 名張市観光戦略の目指す姿のイメージ



図 7.2.1-8 観光ガイドマップ（名張市）

7.2.2 ダムの立地特性

(1) 立地条件

青蓮寺ダムは名張市市街地の近隣に位置する。青蓮寺ダムは、名張市街から車で10分程度（約4km）とアクセスしやすいが、バスは通常は1日5本の運行（10月～11月は、平日1本、休日2本追加）にとどまり、公共交通機関の利便性には恵まれていない。

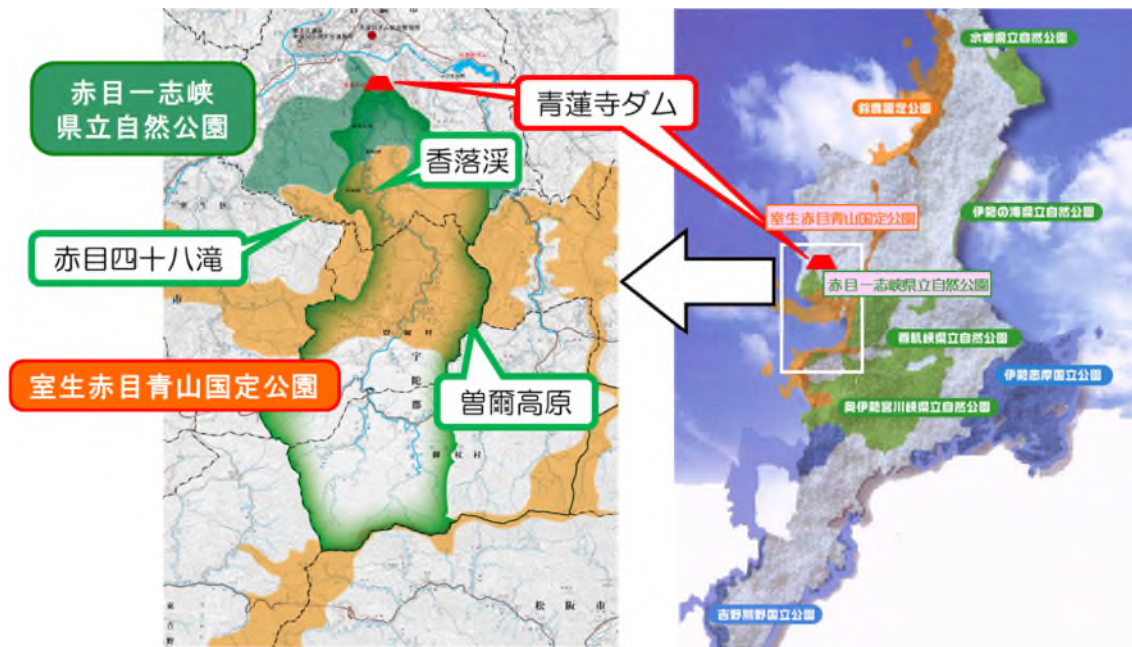


図 7.2.2-1 青蓮寺ダム周辺の交通網

【出典：木津川ダム総合管理所HP】

(2) 自然公園等

青蓮寺ダム水源地域の一部は、「室生赤目青山国定公園」や「赤目一志峡県立自然公園」の区域に指定されており、^{かおちだに}香落溪などの自然景観を有する環境が形成されている。周辺には知名度の高い「赤目四十八滝」や「^{そにこうげん}曾爾高原」などが立地しているほか、歴史文化を有する様々な観光・レクリエーション施設が点在している。



【出典：「みえの自然楽校」HP（三重県農林水産部）】

図 7.2.2-2 青蓮寺ダム上流域の自然公園等

(3) ダム周辺の観光施設等

青蓮寺ダム水源地域の一部は「室生・赤目・青山国定公園」や「三重県立赤目一志峡自然公園」に指定されており、周辺には知名度の高い「赤目四十八滝」や「曾爾高原」などが立地しているほか、歴史文化を有する様々な観光・レクリエーション施設が点在している。ダム及びダム湖周辺地域(名張市、曾爾村、御杖村)の主要な観光・レクリエーション施設、文化施設等を表 7.2.2-1に示す。

表 7.2.2-1 主要な観光・レクリエーション施設、文化施設等一覧

市村名	施設等名称	施設概要
名張市	赤目四十八滝	・日本の滝100選、森林浴の森100選、平成の名水100選に選定されている。重ねてその遊歩道は、美しい日本の歩きたくなるみち500選にも選定され、その延長は約4kmに及ぶ。
	夏見廃寺跡	・7世紀末から8世紀前半に天武天皇の娘が建立したとされる古代寺院跡。
	名張藤堂家邸跡	・1636年から明治維新まで、名張に居を構えた藤堂家の屋敷跡。
	青蓮寺観光農園	・ぶどう、いちご狩りが体験できる観光農園。
	青蓮寺湖畔 ロマンの森	・名張自然休養村ロマンの森と呼ばれた青蓮寺湖畔にあるキャンプ場跡地。工房とカフェが営業しており、春と秋の年2回に地元や近郊都市の家族層向けのイベントが開催されている。
	香落溪温泉	・青蓮寺湖畔にあり、慢性リウマチ、神経痛などに効果がある。
	観阿弥ふるさと公園	・「観阿弥創座之地」の記念碑が祀られており、毎年11月第1日曜日に観阿弥まつりが開催される。
	美旗古墳群	・昭和53年に国の史跡に指定された、伊賀地方最大規模の古墳群。
曾爾村	曾爾高原	・奈良と三重の県境の俱留尊山から亀山を結ぶ西麓に広がる高原。秋にはススキで一面が金色となる。
	曾爾高原ファーム ガーデン	・曾爾高原の入口に位置し、レストラン、ビール工場、ハーブガーデンがある。
	サン・ビレッジ 曾爾	・国の天然記念物である兜岳の麓にある曾爾高原を一望でき、コテージ、テニスコート等が整備されたキャンプ場。
	門僕神社	・雄略天皇時代の延喜式の社で、体育の日前日に行われる秋祭りでは「曾爾の獅子舞」が見られる。県指定天然記念物の「お葉付イチョウ」がある。
	天王神社の天王杉	・村指定の天然記念物で村内最大の杉。
	屏風岩	・国の天然記念物に指定された高さ200mで約2kmに及ぶ柱状節理の岩壁。岩盤にはミツバツツジなどが咲き誇り、麓では春は大木の山桜が、秋には紅葉で彩られる。
	済浄坊の滝	・修験行者が水煙大不動明王の霊を仰いだとされる滝。「やまとの水」に選定されている。
御杖村	三峰山	・春は白ツツジ、夏は新緑、秋は紅葉、冬は霧氷等、四季折々の姿を楽しめる。1月～2月の霧氷祭りは、1年を通して最も賑わう。
	伊勢本街道	・大和と伊勢を結ぶ本街道。歴史情緒、美しい自然に囲まれ、多くの散策客が訪れる。
	みつえ青少年 旅行村	・バンガロー、テントサイトなどの宿泊施設があるキャンプゾーンと、ジャンボ滑り台、ボブスレー等が楽しめる遊具ゾーンで大自然が満喫できるアウトドアスポット。
	三季館	・元々は小学校だった宿泊施設。
	みつえ温泉交流館 (姫石の湯)	・道の駅内の温泉施設。
	御杖神社	・御杖村の名の由来である倭姫伝説が伝わる神社。11月第1日曜日には秋祭りが開催される。

【出典：各自治体HP】

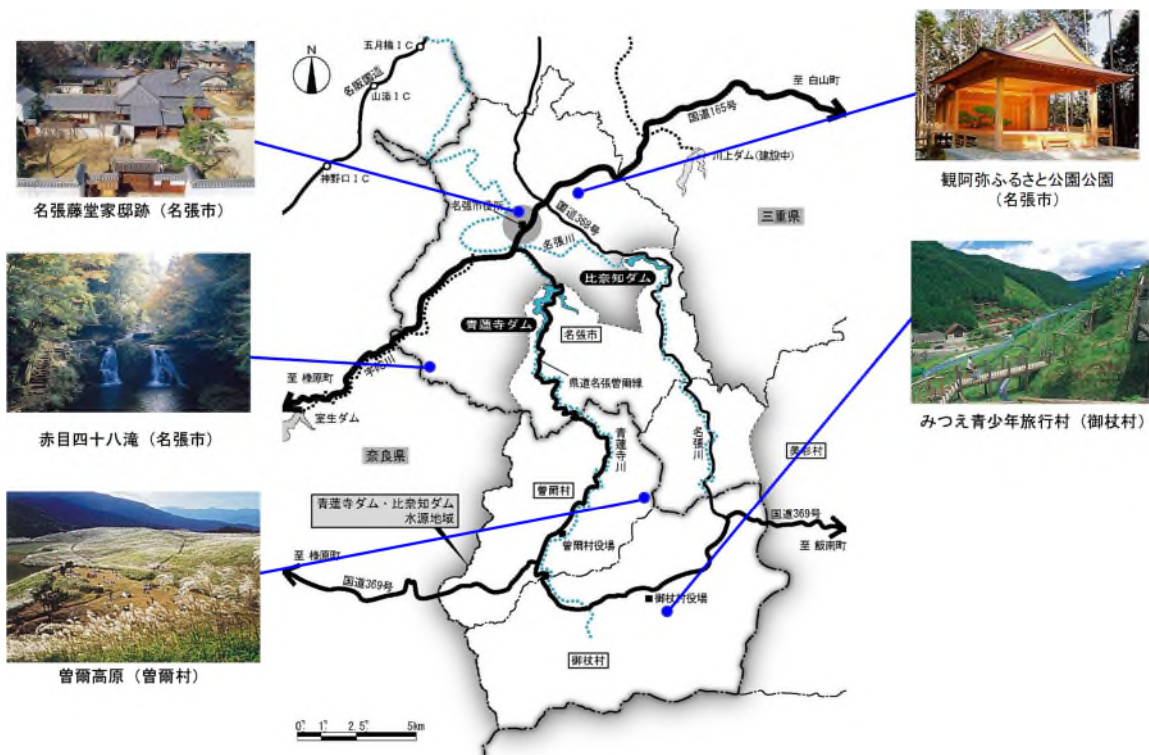


図 7.2.2-3 青蓮寺ダム周辺の主要な観光・レクリエーション施設、文化施設

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

7.3.1 地域社会の変化

青蓮寺ダム事業と地域社会の変化を年表で整理すると、表 7.3.1-1のとおりである。

表 7.3.1-1(1) 青蓮寺ダム事業と地域社会の変化

年	青蓮寺ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化		
		名張市	曾爾村	御杖村
昭和29年		名張市誕生		
30年		名張小学校開設		
34年		消防本部開庁		
37年	建設所設置	火葬場完成		
40年	立入調査	上水道供給開始	養蚕事業着手	
41年	補償基準妥結			
	本体工事、仮設備工事、 左右岸工事用道路、ダム サイト横断道路、県道付 替工事	水没移転家屋32戸 取得用地 宅地:2.0ha 農地:14.9ha 山林:126.6ha		
42年	コンクリート打設		今井林道開通	
44年	試験湛水開始		曾爾村健康グラウン ド完成	
			UHF中継局開局	
			室生・赤目・青山国 定公園指定	
45年	竣工、管理所発足			
46年	台風29号による氾濫回避 のための防災操作		中央公民館竣工	
47年	台風20号による氾濫回避 のための防災操作			
48年	国道165号全線開通		山粕地区簡易水道竣 工	
49年	室生ダム竣工、管理開始	老人福祉センター開 設		みつえ青少年旅行村 開設
		特別養護老人ホーム完成		
51年		青蓮寺観光農園開園		
52年		名張自然休養村ロマ ンの森完成		
54年		香落溪温泉		
55年		勤労者福祉会館開館	第五国立曾爾少年自 然の家開設	
56年	周辺環境整備事業基本計 画策定			
57年	台風10号による氾濫回避 のための防災操作	名張公民館完成		
60年		保健センター完成		
63年			絆の里開館	三季館開設
平成元年			上曾爾地区簡易水道 施設「浄水場」完成	
2年	台風19, 20号による氾濫回 避のための防災操作			
4年		郷土資料室オープン		
5年	梅雨前線による氾濫回避 のための防災操作	赤目四十八滝キャン プ場開場		
6年	台風26号による氾濫回避 のための防災操作			

表 7.3.1-1(2) 青蓮寺ダム事業と地域社会の変化

年	青蓮寺ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化		
		名張市	曾爾村	御杖村
平成7年	国道369号開路トンネル 開通			
8年			東宇陀クリーンセンタ ー可燃性ゴミ収集開始	
9年	台風9号による氾濫回避 のための防災操作	市立病院完成	曾爾村B&G海洋センタ ー完成	
10年			移動通信鉄塔施設開局	
11年	比奈知ダム竣工、管理 開始		サ・ビレッジ 曾爾開設 曾爾高原ファームガー デン開設	
13年			蛭公園完成	
14年	国道369号バイパス完成			
15年			グライバルテン曾爾開設	
16年	水源地域ビジョン策定 台風11号による氾濫回 避のための防災操作		お亀の湯開設	みつえ温泉交流館開設
				姫石の湯開設
				御杖村子育て支援セン ター開設
			曾爾御杖合併協議会の立ち上げ	
17年			合併協議会の解散（合併は白紙）	
18年		FMなばり (83.5MHz) が開局		
19年				
20年		名張市立長瀬小学校 統合。校舎をヤマト 運輸のコールセンタ ーとして利用		
21年	台風18号による氾濫回 避のための防災操作 (統合操作)			
22年				
23年	台風12号による氾濫回 避のための防災操作 (統合操作)			
24年	台風17号による氾濫回 避のための防災操作 (統合操作)			
25年	台風18号による氾濫回 避のための防災操作 (統合操作)	名張市観光協会を一 般社団法人化		
26年	台風11号による氾濫回 避のための防災操作 (統合操作)	名張市内最古の小学 校、滝之原小学校が 閉校し、跡地は松阪 電子計算センターの データセンターとし て活用 国津小学校が統合さ れ、跡地はジャパン グルメの物流拠点と して活用		
27年		名張ゆめづくり協働 塾開設		

表 7.3.1-1(3) 青蓮寺ダム事業と地域社会の変化

年	青蓮寺ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化		
		名張市	曾爾村	御杖村
平成28年	台風16号による氾濫回避 のための防災操作	市の新しい総合計 画、「新・理想郷プ ラン」がスタート	手作りの小さな映画 上映会「曾爾シネマ」 の開催	「三峰山霧氷まつり」 などの開催
29年	台風21号による氾濫回避 のための防災操作 (統合操作)	とれたて名張交流館 の来館者数50万人突 破	第2回スペシャルステ ージ曾爾クラシックの 開催	「三峰山白つつじと新 緑鑑賞登山」などの開 催
30年	台風12号による氾濫回避 のための防災操作 (統合操作)	名張市内のワイナリ ー(旧国津小学校を 改修した醸造所)で 作られたワインが初 出荷	曾爾村漆復興拠点施設 「ねんりん舎」の整備	「伊勢本街道観光マラ ソンinみつえ」などの 開催
令和元年	台風19号による氾濫回避 のための防災操作	赤目四十八滝キャン プ場のリニューアル オープン	曾爾高原で大規模な肥 料散布の実施	「株式会社みつえ」地 域商社の設立 「御杖村制130年記念 NHK上方演芸会公開 録音」などの開催
2年	青蓮寺ダム管理開始50 周年	多文化共生センター [愛称:Nabichan(な びちゃん)]の開設	旧曾爾村小学校と旧曾 爾村中学校が合併し、 「曾爾村立曾爾小中 学校」が開校	「土屋原案山子まつ り」などの開催

7.4 ダムと地域の関わり

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

青蓮寺ダムでは比奈知ダムと共に水源地域ビジョンの基本的な事項を定めた「水源地域ビジョン策定要綱」(平成13年4月12日 国土交通省)に沿って、地元住民や関係機関等が共同して「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」を平成16年2月に策定した。

「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」は、“青蓮寺ダム、比奈知ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”として、青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いて検討、策定したものである。

具体的施策の策定にあたっての基本的な取り組み内容と考え方を以下に示す。

(1) 美しい自然環境と共生した地域づくり

青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域には、名張川や青蓮寺川等がつくる溪谷や、清らかな水を生み出す水源林、曾爾高原等の変化に富んだ美しい自然環境が形成されている。

これらの美しい自然環境を適切に保全、育成しつつ、適切に自然環境の活用を図ることで、自然環境と共生した地域づくりを推進する。

(2) 自立した個性ある地域づくり

水源地域の活性化のためには、水源地域に暮らす人々自らの手で水源地域が持つ魅力に磨きをかけ、水源地域のポテンシャルを向上させていくことが必要である。

そこで、地域づくりを進めていく上で重要な「人材の育成」を図りつつ、水源地域の持つ魅力を活かした特色ある地域の形成を目指すことで、自立した個性ある地域づくりを推進する。

(3) 多様な地域との交流による地域づくり

地域活性化のためには、水源地域の自治体や関係諸団体、地域住民等が、相互に協力、連携しながら、協働して様々な取り組みを進めていくことが必要である。

また、淀川の支川である名張川の源流にあたる当地域は、この地域から生み出される水資源を通じて下流の広い地域と密接につながっていることから、流域における関係者の水源地域に対する適切な理解のもとでの協力、連携によって、取り組みを進めていくことも必要である。

そこで、地域内での交流を促進するとともに、水源地域のPRによって名張川流域や淀川流域等での上下流交流を促進し、多様な地域との交流による地域づくりを推進する。

7.4.2 地域とダム管理者の関わり

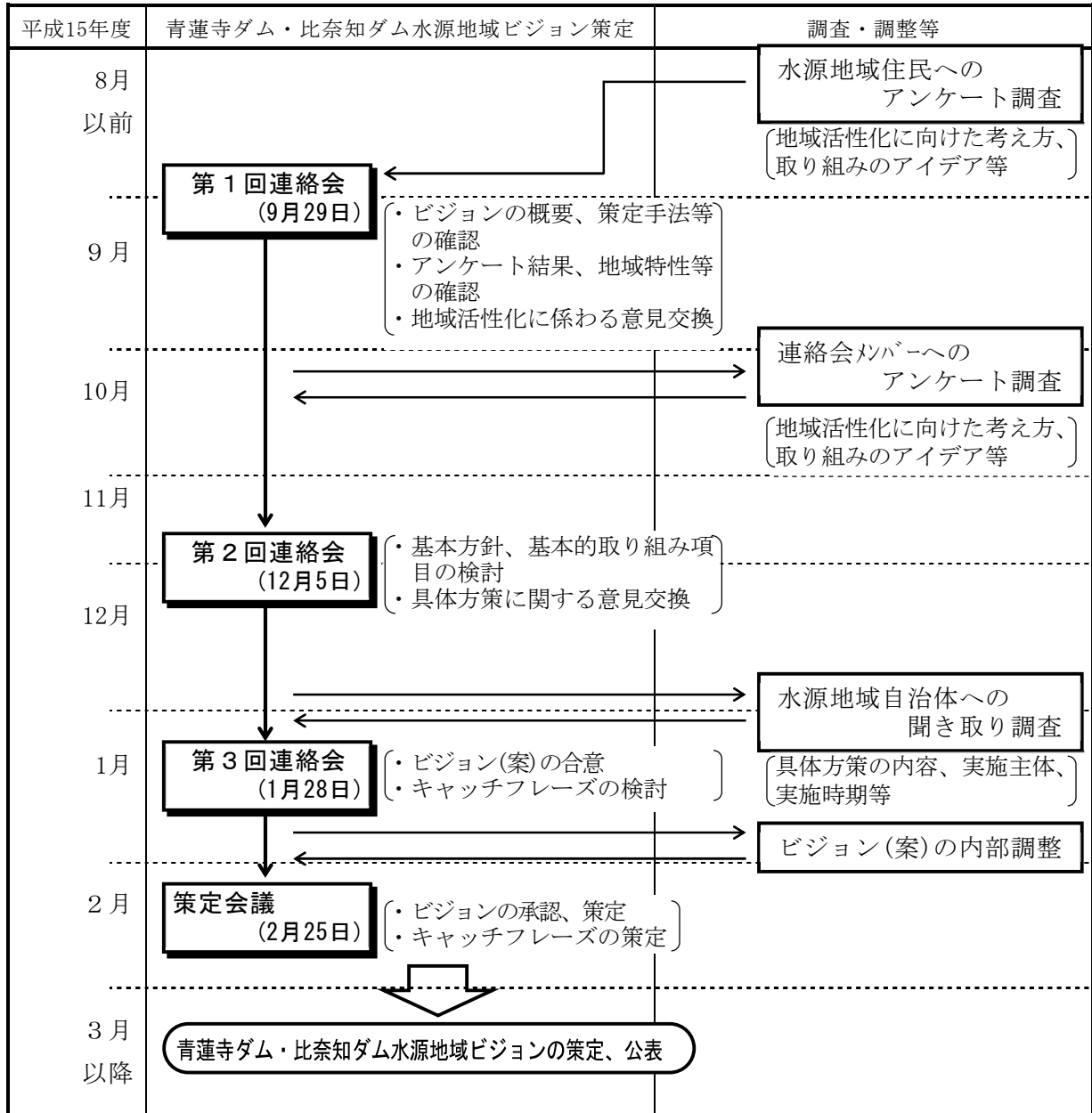
(1) 「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」の概要

「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」の検討・策定は、以下に示す関係諸機関によって構成される「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行われた。

- 学識経験者 大学助教授
 - 水源地域自治体 名張市、曾爾村、御杖村、美杉村
 - 水源地域住民代表 名張市区長会会長
曾爾村総代会会長
御杖村区長会代表
美杉村住民
 - 関係団体 伊賀森林組合
名張川漁業協同組合
青蓮寺香落漁業協同組合
長瀬太郎生川漁業協同組合
名張商工会議所
曾爾村商工会
曾爾村森林組合
曾爾村漁業協同組合
御杖村森林組合
御杖村商工会
御杖村漁業組合
美杉村太郎生住民センター
川の会・名張
わさびの会
 - ダム管理者 独立行政法人水資源機構
- 〈オブザーバー〉
- 国土交通省 近畿地方整備局 河川部河川管理課
木津川上流河川事務所
淀川ダム統合管理事務所
 - 三重県 地域振興部 県土・水資源・流域圏推進チーム
 - 奈良県 企画部 資源調整課

「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議」は連絡会を3回(平成15年9月29日、12月5日、平成16年1月28日)開催した。この間に、水源地域住民を対象にしたアンケート調査や連絡会メンバーへのアンケート調査、水源地域自治体への聞き取り調査などを実施し、その結果を踏まえて議論を重ね、平成16年2月25日の策定会議において「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」を策定した。

表 7.4.2-1 青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョンの策定経緯



〈青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン〉

〈キャッチフレーズ〉

地域を越えてつなげよう 木津川をうるおす水いづる郷

基本方針

○ 美しい自然環境と共生した地域づくり

青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域には、名張川や青蓮寺川等がつくる渓谷や、清らかな水を生み出す水源林、曹霽高原等の変化に富んだ美しい自然環境が形成されている。
これらの美しい自然環境を適切に保全、育成しつつ、適切に自然環境の活用を図ることで、自然環境と共生した地域づくりを推進する。

○ 自立した個性ある地域づくり

水源地域の活性化のためには、水源地域に暮らす人々自らの手で水源地域が持つ魅力に磨きをかけ、水源地域のポテンシャルを向上させていくことが必要である。
そこで、地域づくりを進めていく上で重要な「人材の育成」を図りつつ、水源地域の持つ魅力を活かした特色ある地域の形成を目指すことで、自立した個性ある地域づくりを推進する。

○ 多様な地域との交流による地域づくり

地域活性化のためには、水源地域の自治体や関係諸団体、地域住民等が相互に協力、連携しながら、協働して様々な取組みを進めていくことが必要である。
また、淀川流域の支流で名張川流域の源流にあたる当該地域は、この地域から生み出される水資源を通じて下流の広い地域と密接につながっていることから、流域における関係者の水源地域に対する適切な理解のものとでの協力、連携によって、取組みを進めていくことも必要である。
そこで、地域内での交流を促進するとともに、水源地域のPRによって名張川流域や淀川流域等での上下流交流を促進し、多様な地域との交流による地域づくりを推進する。

取り組み項目

自然環境の保全、育成

河川やダム湖での水質保全や、ダム湖の周辺および上流の水源林を適切に保全、育成していくことなどによって、地域の美しい自然環境を保全、育成する。

環境保全に対する意識の啓発

地域住民や地域の利用者、下流受益者等に対し、地域の環境保全に関する意識の啓発を図る。

地域資源の活用

地域の自然環境や既存の取り組みなど、地域が有する既存資源の活用を図る。

ダム・ダム湖の活用

ダム周辺に整備された施設や、ダム湖の湖面などの活用を図る。

地域情報の発信

地域の自然や観光・レクリエーション施設、イベント等の情報や、水源地域の担い手役割等の情報を効率的、効果的に発信する。

協働のためのしくみづくり

水源地域や流域全体での協働による地域づくりを推進するためのしくみなどを検討する。

具体方策

- ・ 河川の水質保全対策の推進
- ・ ダム湖の水質保全対策の検討、実施
- ・ 間伐事業の推進
- ・ 間伐材等の利用方策の検討
- ・ 広葉樹への樹種転換の推進
- ・ 治山事業の継続実施
- ・ 地域住民による清掃や草刈りの実施
- ・ 地域住民による植栽の実施

- ・ 水質保全に対する意識の啓発（環境教育の推進）
- ・ 水源林の保全、育成に対する意識の啓発（環境教育の推進）
- ・ ゴミ問題に対する意識の啓発

- ・ 農林体験（グリーンツーリズム）事業の継続実施
- ・ クライングルテン（市民農園）の継続運営
- ・ 河川親水空間の整備
- ・ 香滝溪の利用促進
- ・ 奥香落の利用促進

- ・ ダムを活かしたイベントの開催
- ・ ダム湖の活用検討
- ・ 青蓮寺ダム、比奈知ダムを結ぶネットワークの検討

- ・ ダム周辺マップの作成、配布
- ・ 地域情報の集約、PRシステムの構築検討

- ・ 水源地域内での協力、連携手法の検討
- ・ 地域づくりに係わる人材の育成、支援
- ・ 流域での協力、連携手法の検討

(2) 水源地域ビジョンの活動状況

青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン実行連絡会の実施状況を表 7.4.2-2に示す。
 以下の内容について、各機関からの実施状況の報告や意見交換等が行われた。

- ① 水源地域内での協力、連携（水源地域自治体）
- ② 地域づくりに関わる人材の育成（水源地域自治体、NPO等）
- ③ 流域での協力、連携（関係自治体、水機構、県、国交省）

表 7.4.2-2 青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン実行連絡会の実施状況

年度	開催日
平成 28 年度	11 月 7 日
平成 29 年度	11 月 14 日
平成 30 年度	11 月 21 日
令和元年度	11 月 12 日
令和 2 年度	11 月 27 日



図 7.4.2-1 実行連絡会開催状況(令和元年度)

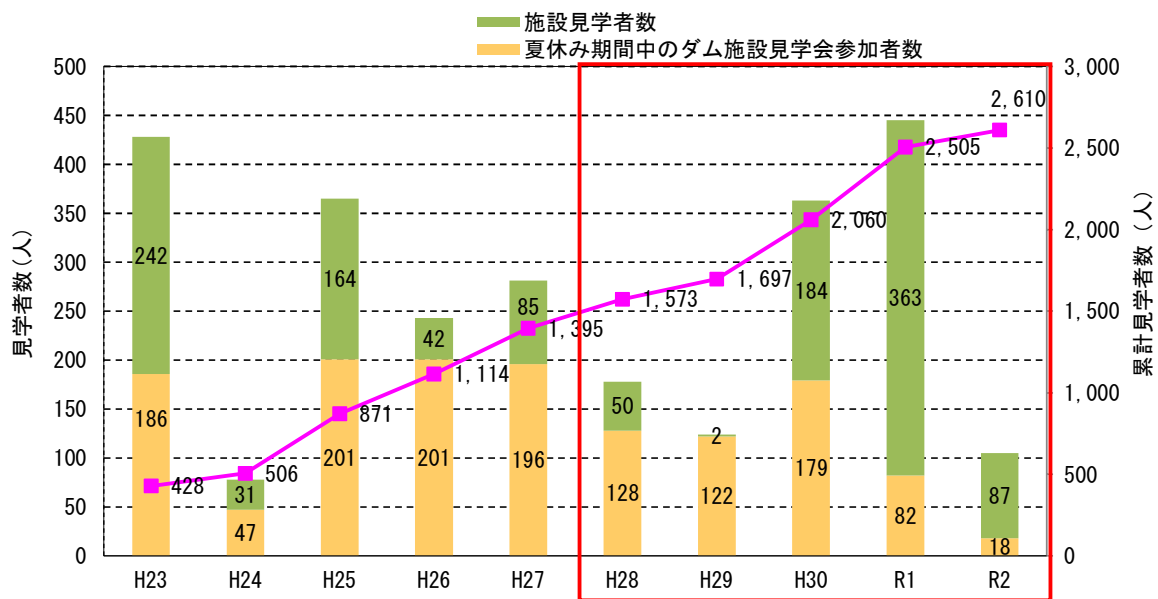
(3) ダム管理者の地域に向けた活動等

青蓮寺ダム管理所では、地域に対しダム見学会等を開催し、ダムの働きや仕組みについて知ってもらう活動を行っている。

ダム見学会等実施状況を表 7.4.2-3、ダムの見学者数を図 7.4.2-2に示す。

表 7.4.2-3 ダム見学会等実施状況（平成28～令和2年度）

年	開催日	団体名・参加人数等	活動内容
平成 28 年	7 月 26 日～8 月 30 日 各火曜日・木曜日	ダム施設見学会 128 名 (総計)	○青蓮寺ダム概要説明 ○施設見学
平成 29 年	7 月 25 日～8 月 31 日 各火曜日・木曜日	ダム施設見学会 122 名 (総計)	○青蓮寺ダム概要説明 ○施設見学
平成 30 年	7 月 24 日～8 月 30 日 各火曜日・木曜日	ダム施設見学会 179 名 (総計)	○青蓮寺ダム概要説明 ○施設見学
令和元年	7 月 24 日～8 月 28 日 各水曜日	ダム施設見学会 82 名 (総計)	○青蓮寺ダム概要説明 ○施設見学
令和 2 年	8 月 5 日	ダム施設見学会 18 名 (総計)	○青蓮寺ダム概要説明 ○施設見学



注1) 夏休み期間中のダム施設見学会参加者は毎年7月～8月に定期的に行われている見学会の参加人数を示す。

注2) 施設見学者数は上記以外の見学会者数を示す。

図 7.4.2-2 青蓮寺ダムの見学者数（平成23～令和2年度）

7.5 ダム周辺の状況

7.5.1 ダム周辺環境整備事業等の状況

青蓮寺湖は地域住民の方々に親しまれ、春の新緑、秋の紅葉、夏はキャンプとぶどう狩り等、四季を通じて多くの人々が訪れている。

これらを利用する人々の安全対策を講じ、ダム周辺を緑化整備することにより、好ましい貯水池環境を創造して、水と緑の豊かなオープンスペースの提供を図るためにダム周辺環境整備事業が昭和55年に採択され、国土交通省の事業として昭和56年から平成4年にかけて実施された。

6地区の整備がなされており、維持管理は協定に基づき名張市が実施している。

また周辺には、宿泊滞在施設（青蓮寺レイクホテル）や観光レクリエーション施設（青蓮寺湖畔ロマンの森、青蓮寺湖観光村）が整備されている。

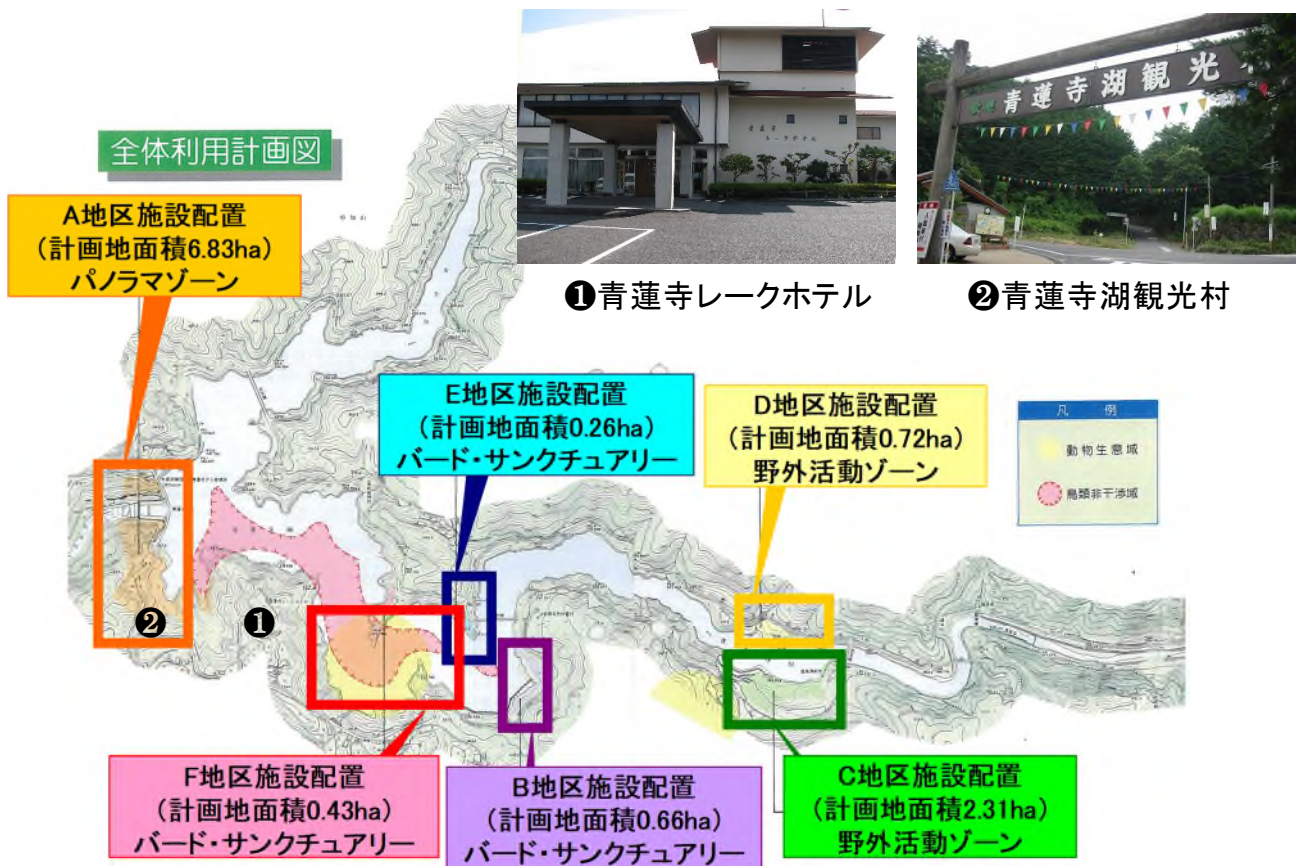


図 7.5.1-1 青蓮寺ダム周辺整備施設等位置図

表 7.5.1-1 青蓮寺ダム周辺整備施設

<p>●A地区（パノラマゾーン）</p> <p>景勝地香落溪、青蓮寺湖、青蓮寺ダムを一望に見渡せる展望広場をメインとし、森林浴を楽しめる遊歩道、野鳥の声を聞きながらの休憩施設等が整備されている。</p> <p>○駐車可能台数 約15台</p> <p>○トイレ無し（近くにぶどう組合の施設有）</p>	
<p>●B地区（バード・サンクチュアリー）</p> <p>水辺を生かした植物を植え、老人から子供までが自然に親しみバードウォッチング等が楽しめる湖畔の散策公園が整備されている。</p> <p>○駐車可能台数 約18台（3箇所）</p> <p>○トイレ有り</p>	
<p>●C地区（野外活動ゾーン）</p> <p>家族連れや青少年の仲間達が共に自然の中のレクリエーションを楽しめるように、湖畔に運動広場が整備されている</p> <p>○駐車可能台数 約15台</p> <p>○トイレ有り</p>	
<p>●D地区（野外活動ゾーン）</p> <p>景勝地香落溪の出入り口にあたり、ドライブ・サイクリング・ハイキング等で訪れる人々の憩いの場とし、小鳥の浮かぶ水辺には魚釣りが楽しめる場所として整備されている。</p> <p>○駐車可能台数 約5台</p> <p>○トイレ無し</p>	
<p>●E地区（バード・サンクチュアリー）</p> <p>青蓮寺橋のもと、ダム湖の左右岸と香落溪を結ぶ分岐点にあたり、湖面に突き出た岬からの眺望も楽しめる場所として整備されている。</p> <p>○駐車場、トイレ無し</p>	
<p>●F地区（バード・サンクチュアリー）</p> <p>湖面の中央に長く突き出た岬の遊歩道から、青く澄んだ湖面に映える四方の山腹の眺めを楽しめる憩いの場で、野鳥の保護、繁殖も兼ねた実のなる木が植えられている。</p> <p>○駐車場、トイレ無し</p>	

【出典：木津川ダム総合管理所HP】

＜その他の観光施設（青蓮寺ダム湖周辺）＞

青蓮寺ダム貯水池周辺には、宿泊滞在施設や観光レクリエーション施設等が整備されている。

- ・青蓮寺レークホテル : 貯水池を望む湖畔に立地する宿泊施設
- ・青蓮寺湖畔ロマンの森 : 貯水池を望むカフェ及びキャンプ場
- ・青蓮寺湖観光村 : 春のいちご狩り、夏のぶどう狩り、秋のまつたけ狩り等が楽しめる観光農園群



青蓮寺レークホテル



青蓮寺湖畔ロマンの森



青蓮寺湖観光村入口



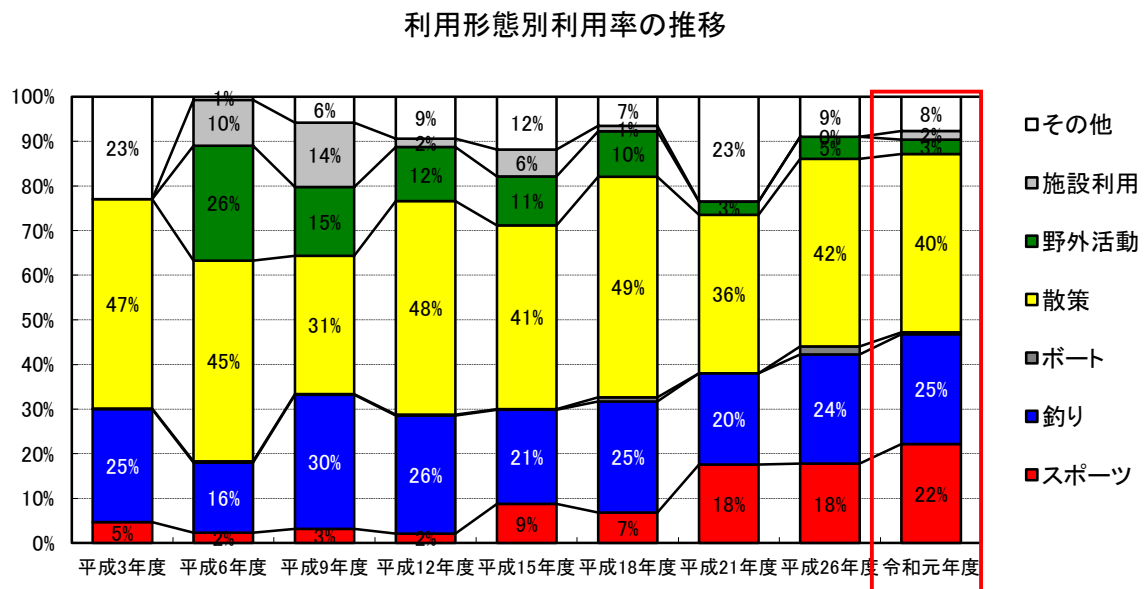
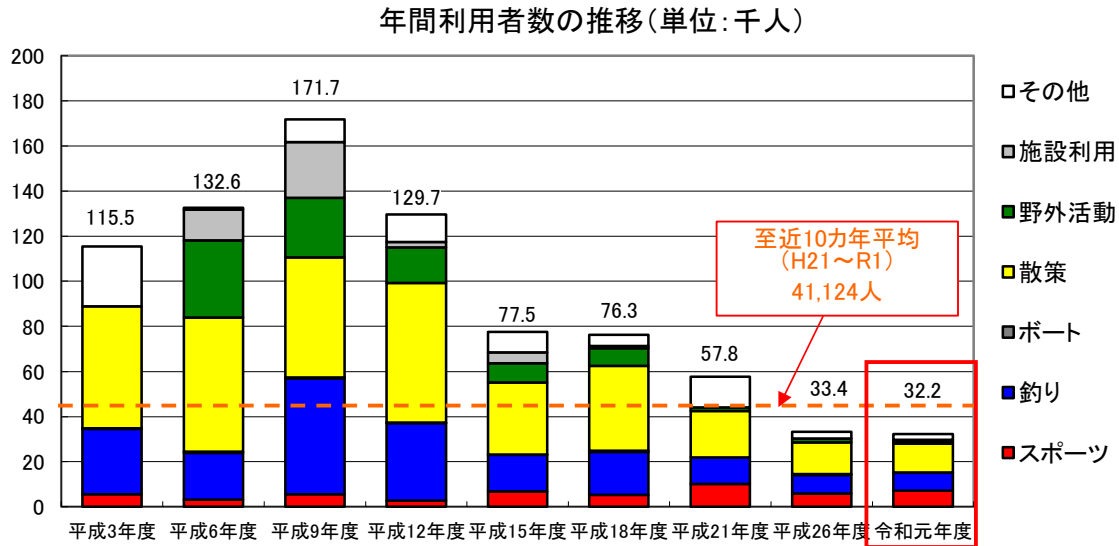
青蓮寺湖観光村の案内板

7.5.2 ダム周辺施設の利用状況

(1) 利用者数の推移

青蓮寺ダム、ダム湖及び周辺の利用者数は、令和元年度は約3万2千人と推計される(平成9年度:17万2千人、平成12年13万人、平成15年度:7万8千人、平成18年度:7万6千人、平成21年度:5万8千人、平成26年度:約3万3千人、令和元年度:約3万2千人)。

利用形態別のダム、ダム湖及び周辺の利用状況の年間推計によると、令和元年度は「スポーツ」「釣り」の利用形態が増加している。



野外活動: サイクリング、キャンプ、バーベキュー、写真撮影
 施設利用: レストラン利用
 その他: 工事関係、レストラン店員

注) 令和元年度より年間利用者数の推計時に天候係数 (p7-37 3. 利用者数の推計方法参照) が導入されたため、平成26年度以前の推計結果と推計方法が異なる。

図 7.5.2-1 ダム、ダム湖及び周辺の利用者数の推移

【出典: 「ダム湖利用実態調査」国土交通省】

(2) 利用者の満足度

「ダム湖利用実態調査」では、ダム、ダム湖及び周辺に対する満足度について、来訪者アンケートを行っている。

アンケート結果によると、利用者の満足度は、平成18年度調査は7割強が「満足」「まあ満足」と回答したのに対し令和元年度調査では8割弱とやや増加した。これはダム湖を周遊する駅伝大会などのイベント開催や釣り等目的を持って利用する人が増えたため、満足度が高かったと考えられる。なお、これまでで満足度が最も高かったのは、平成26年度調査の8割強となっている。

一方、「不満」「やや不満」の回答割合は全体の約7%で、平成18年度調査の約6%から1ポイント程度増加している。

■ アンケート結果

	1.満足している	2.まあ満足している	3.どちらともいえない	4.やや不満である	5.不満である	有効回答数
平成18年度	39.1%	35.7%	19.1%	4.3%	1.7%	115(100%)
平成21年度	25.6%	41.9%	26.5%	2.6%	3.4%	117(100%)
平成26年度	49.1%	36.6%	7.1%	5.4%	1.8%	112(100%)
令和元年度	52.1%	26.4%	14.6%	3.5%	3.5%	144(100%)

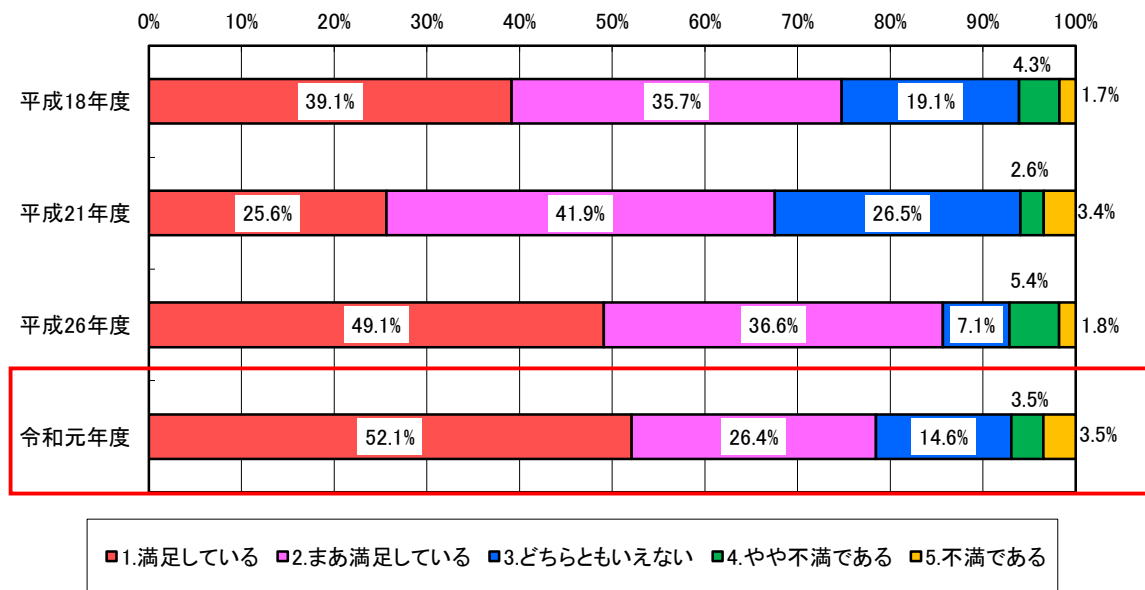


図 7.5.2-2 ダム湖利用実態調査における利用者満足度回答の推移

7.5.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況

(1) イベントの実施状況

青蓮寺ダム周辺では、ダムやダム湖、湖周道路等を活用して様々なイベントが開催されている。以下にその開催概要を示す。

表 7.5.3-1 青蓮寺ダム周辺でのイベント等開催状況 (駅伝競走大会)

年	開催日	行事等名	開催場所	主催	参加者	内容等
H28	2月28日	名張青蓮寺湖駅伝競走大会(第30回)	青蓮寺ダム湖周辺	名張青蓮寺湖駅伝競走大会実行委員会	約800名	毎年恒例の駅伝競走大会で、男子(20.24km)、女子(13.06km)、男女混成(13.06km)をリレーする
H29	2月26日	名張青蓮寺湖駅伝競走大会(第31回)			約800名	
H30	2月25日	名張青蓮寺湖駅伝競走大会(第32回)			約800名	
R1	2月24日	名張青蓮寺湖駅伝競走大会(第33回)			約820名	
R2	2月23日	名張青蓮寺湖駅伝競走大会(第34回)			約590名	

表 7.5.3-2 青蓮寺ダム周辺でのイベント等開催状況 (ダム施設見学会)

年	開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	内容等
H28	7月26日～8月30日	ダム施設見学会	青蓮寺ダム	青蓮寺ダム管理所	128名	○青蓮寺ダム概要説明 ○操作室、キャットウォーク、ゲート室などの見学 ○青蓮寺ダムの取り組み事例説明
H29	7月25日～8月31日				122名	
H30	7月24日～8月30日				179名	
R1	7月24日～8月28日				82名	
R2	8月5日				18名	

注) 令和2年は8月12日、8月19日についても予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、1回のみの実施となった。



名張青蓮寺湖駅伝競走大会(令和2年)



ダム施設見学会(令和2年)

表 7.5.3-3 青蓮寺ダム周辺でのイベント等開催状況(管理開始50周年記念式典)

年	開催日	行事等名	開催場所	主催	参加者	内容等
R2	11月18日	青蓮寺ダム 管理開始50周年 記念式典	青蓮寺ダム	青蓮寺ダム 管理所	16名 (機構関係者3名含む)	記念式典及び記念植樹



管理開始50周年記念式典



管理開始50周年記念植樹

表 7.5.3-4青蓮寺ダム周辺でのイベント等開催状況(河川清掃活動)

年	開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	内容等
H28	5月15日	河川清掃活動	青蓮寺湖上流 香落溪周辺	青蓮寺川 香落漁業 協同組合	約30名 (機構職員17名)	香落橋漁協～ 上流2km付近の 清掃活動。
H29	6月4日				約30名 (機構職員18名)	
H30	6月3日				約30名 (機構職員12名)	
R1	6月2日				約30名 (機構職員13名)	

注) 令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

表 7.5.3-5青蓮寺ダム周辺でのイベント等開催状況(名張クリーン大作戦)

年	開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	内容等
H28	5月15日	名張クリーン 大作戦2016	青蓮寺 ダム湖周辺	名張クリーン 大作戦 実行委員会	約6,000名 (機構職員3名)	名張市の景勝地である 青蓮寺ダム湖の景 観保全を目的とした 市民参加型のクリー ン大作戦で、環境行 事の一環としてダム 湖周辺の新緑を眺め ながらのゴミ拾い をおこなったもので ある。収集したゴミ は分別し、名張市に おいて処理を行った。
H29	6月4日	名張クリーン 大作戦2017			約5,000名 (機構職員53名)	
H30	6月3日	名張クリーン 大作戦2018			約4,700名 (機構職員6名)	
R1	6月2日	名張クリーン 大作戦2019			約5,000名 (機構職員4名)	

注) 令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。



河川清掃活動(平成28年)

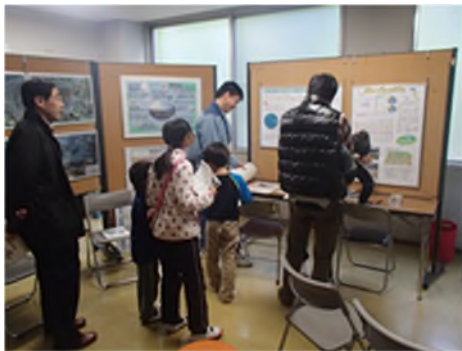


名張クリーン大作戦(令和元年)

表 7.5.3-6 青蓮寺ダム周辺でのイベント等開催状況(その他イベント)

年	開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	内容等
H28	4月24日	タケノコと草餅の会	青蓮寺ぶどう農園	青蓮寺区	約100名(機構職員10名含む)	-
	10月29日	国立曽爾青少年自然の家イベント	国立曽爾青少年自然の家	国立曽爾青少年自然の家	機構職員4名参加	
	11月5日	2016青蓮寺・百合丘地域フェスタ	百合丘市民センター	百合丘市民センター	-	自然体験フェスタパネル展示等
H29	4月23日	タケノコと草餅の会	青蓮寺ぶどう農園	青蓮寺区	機構職員15名参加	
	10月21~22日	自然体験フェスタ	国立曽爾青少年自然の家	国立曽爾青少年自然の家	-	自然体験フェスタパネル展示等
	11月3日	イモ掘り大会	青蓮寺ぶどう農園	青蓮寺区	機構職員6名参加	
	11月4日	2017青蓮寺・百合が丘地域フェスタ	百合丘市民センター	百合丘市民センター		パネル展示によるダムのPR
H30	4月22日	タケノコと草餅の会	青蓮寺ぶどう農園	青蓮寺区	機構職員15名参加	-
	10月14日	イモ掘り大会	青蓮寺ダムの近傍	青蓮寺区	機構職員9名参加	-
	10月27~28日	自然体験フェスタ	国立曽爾青少年自然の家	国立曽爾青少年自然の家	-	自然体験フェスタパネル展示等
	11月3日	2018青蓮寺・百合が丘地域フェスタ	百合丘市民センター	百合丘市民センター	-	パネル展示によるダムのPR
R1	1月6日	どんどゼンザイ会(花見つけ自然教室) 焚き火の会		青蓮寺区	機構職員2名参加	-
	4月14日	タケノコと草餅の会	青蓮寺ぶどう農園	青蓮寺区	機構職員20名参加	-
	10月13日	イモ掘り大会	青蓮寺ぶどう農園	青蓮寺区	-	-
	11月2日	2019青蓮寺・百合ヶ丘地域フェスタ	百合ヶ丘市民センター	百合ヶ丘市民センター	機構職員2名参加	パネル展示によるダムのPR
	11月3日	施設見学会(みのわたんけんものがたり対応)		箕曲市民センター	機構職員8名参加	
	11月23日~11月24日	自然体験フェスタ	国立曽爾青少年自然の家	国立曽爾青少年自然の家	機構職員5名参加	自然体験フェスタパネル展示等
R2	1月5日	どんどゼンザイ会(花見つけ自然教室) 焚き火の会		青蓮寺区	機構職員1名参加	

注) 令和2年は、例年実施している表中のイベント以外については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。



曾爾青少年の家イベント
(平成28年10月29日)



曾爾青少年の家イベント
(平成28年10月29日)



パネル展示によるダムのPR
(令和元年7月24日～8月28日)



パネル展示によるダムのPR
(令和元年7月24日～8月28日)

図 7.5.3-1 青蓮寺ダム周辺でのイベント等開催状況

(2) ダムカードの配布

国土交通省と独立行政法人水資源機構の管理するダムでは、平成19年よりカードの大きさや掲載する情報項目などを全国で統一した「ダムカード」を作成し、イベント参加者やダム来訪者に配布し、ダムへの関心や興味を持ってもらう取り組みを行っている。青蓮寺ダムのダムカード配布状況を図 7.5.3-2に示す。

配布枚数は増加傾向にあり、ダム及びダムカードへの関心が高くなっていることが伺える。なお、令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ダムカードの配布を一時中止し、配布枚数が減少している。

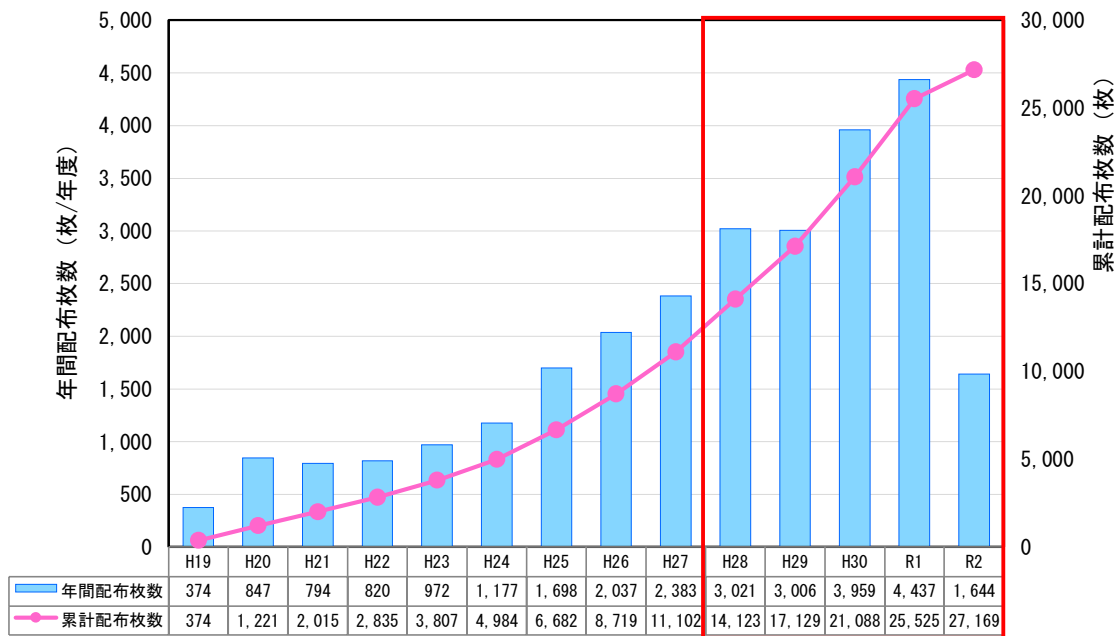


図 7.5.3-2 ダムカード配布状況(平成19年度から令和2年度)



図 7.5.3-3 青蓮寺ダムのダムカード(サンプル)

(3) その他の取り組み

① ダムカレー

青蓮寺ダムカレーを図 7.5.3-4 に示す。

青蓮寺ダム周辺にあるカフェ「yunocafe」、観光交流センター「名張市旧細川邸・やなせ宿」で「青蓮寺ダムカレー」を販売している。



<yunocafe(提供店) 青蓮寺ダムカレー>



<yunocafe(提供店) 青蓮寺ダムカレー (伊賀焼版) >



<やなせ宿(提供店) 青蓮寺ダムカレー>

図 7.5.3-4 青蓮寺ダムカレー

そのほか、木津川ダム総合管理所の5ダムに川上ダムを加えた6ダムのダムカレーについてもPR活動を行っている。

木津川ゴレンドムカレー群
6基のダムですが〜

定休日(休工日)を前もってご確認ください

木津総製♪ “幻”の“食べてすっきり堤砂除去”伊賀焼血

高山ダムカレー
温泉、地元特産品も♪
月ヶ瀬温泉 TEL:0743-92-0388

川上ダムカレー
Cafe Wieder (カフェ・ウィーダー) TEL:0595-51-6862

布目ダムカレー
団体様のみ予約受付ですお問い合わせは下記まで

大三toco-だいさんどこ TEL:0743-86-0377

室生ダムカレー
柚原駅近く、大和当帰の薬膳♪

和カフェ&ダイニングきえん TEL:0745-96-9866

比奈知ダムカレー
毎月第3日曜限定20食(要予約)
代表:大田090-4895-8868

平成穂原子供のもり公園森の憩い茶コーナー
子供のもり公園喫茶スペース TEL:0745-82-7411

やなせ宿 TEL:0595-62-7760
月1回限定! やなせ宿HP♪

yuno cafe TEL:0595-28-0062

お皿がダム形状!

販売休止!

名張川右岸♪

お皿がダム形状!

注意:施工日限定+四輪駐車料金必要です

②絵葉書、風景印

木津川ダム総合管理所の5ダムでは、絵葉書と風景印が作成されている。

高山ダムでは、「南山城村自然の家」でダム堤体が写る絵葉書が入手でき、高山郵便局で風景印(消印)を押してもらえます。

木津川ゴレンドムがデザインされた風景印
“風景印”とは各地の郵便局の消印のことです。水源地訪問の思い出にいかがですか?
重要! 風景印は直径約3.7cm。宛先、宛名の記入ではこの大きさを空けて下さい。

重要! 郵便局の窓口で「風景印希望」とお伝え下さい。切手が必要です。(布目、青蓮寺(名張島)は土日入手可能)

高山ダム
高山郵便局 京都府南山城村田山

布目ダム
東山郵便局 奈良県山添村 峰寺
おしゃれな専用の投函ボックスもあり♪

室生ダム
これはイメージです。風景印の運用はまだです♪

比奈知ダム
国津郵便局 三重県名張市長瀬

青蓮寺ダム
絵葉書検討中(これは室生ダム管理所製)

名張郵便局 三重県名張市栄町(名張駅前、土日もOpen!)

名張市観光協会ブース(名張駅西口)他にあります♪

結果書あります♪@高山ダム管理所近くの「南山城村自然の家」へ是非どうぞ!

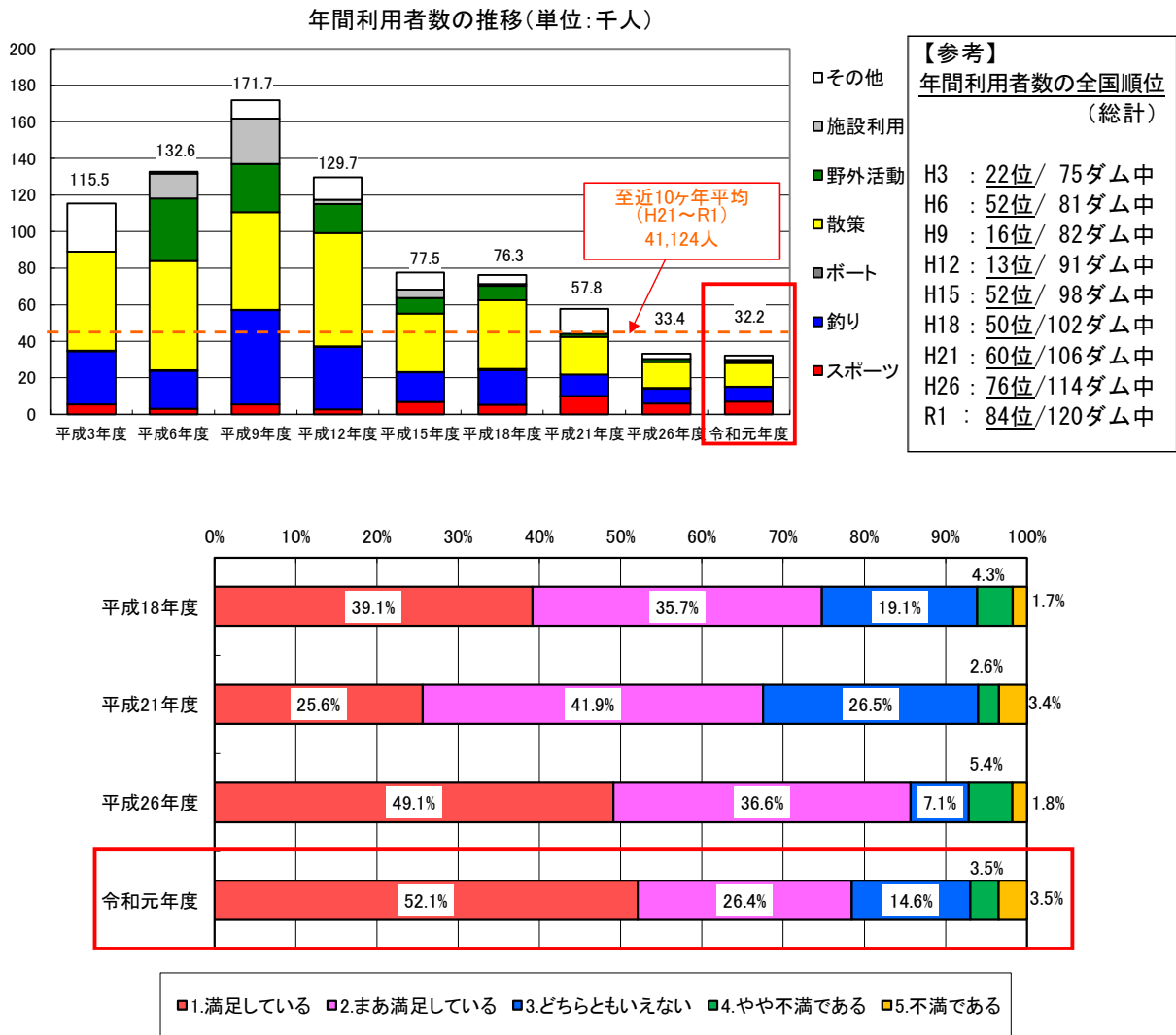
マラソンや駅伝大会参加者定の絵葉書も!

7.6 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

7.6.1 ダム湖利用実態調査

令和元年度に実施した河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)の調査結果は図 7.6.1-1～図 7.6.1-2に示すとおりである。

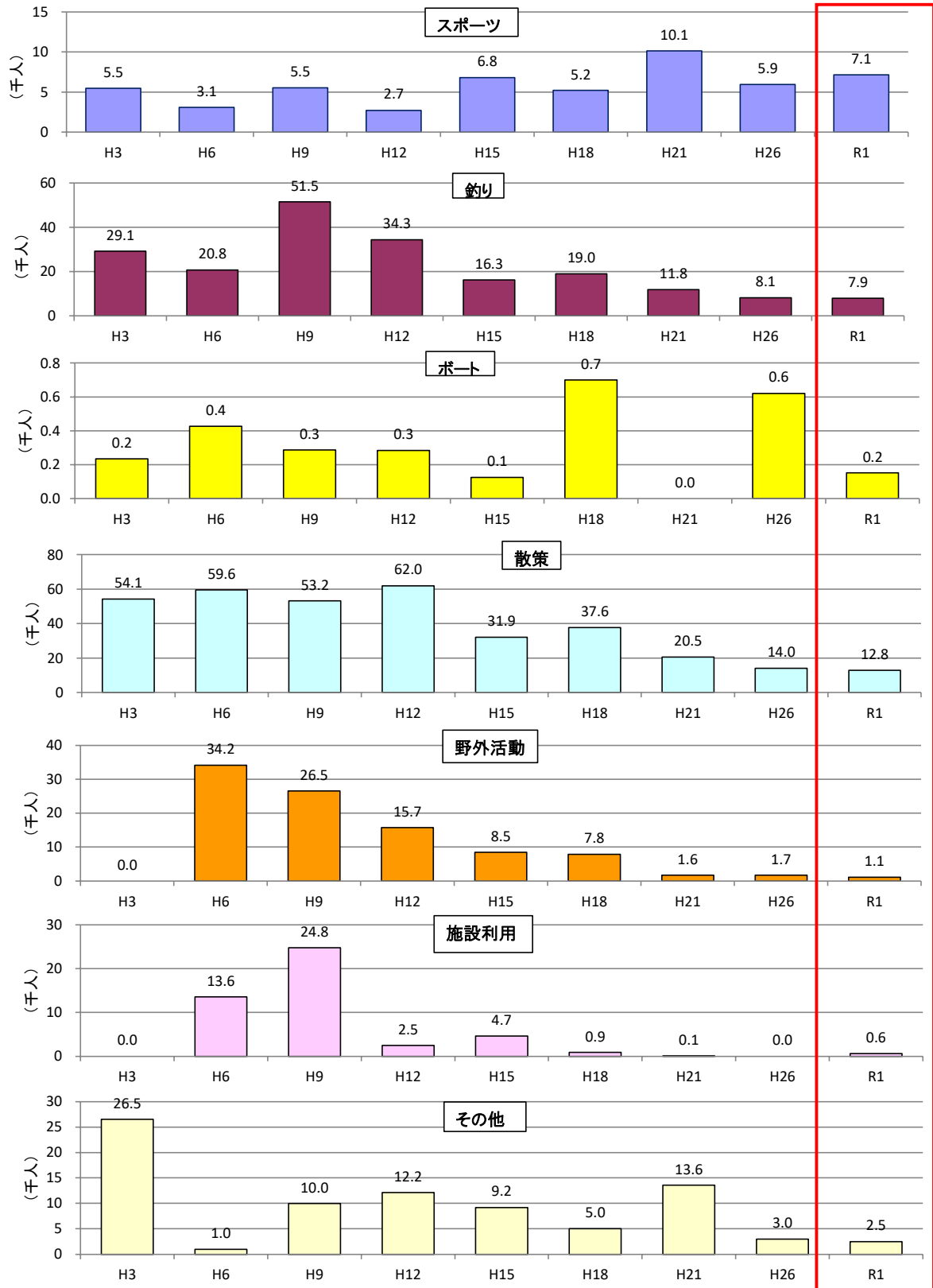
河川水辺の国勢調査(年間7日間のダム湖利用実態調査)から年間利用者数を推計すると、令和元年度に青蓮寺ダムには約3万2千人の来訪者があったと考えられる。利用形態とは「散策」「釣り」「スポーツ」が多く、「釣り」が比較的多い点が本ダムの特徴である。なお、「スポーツ」は、ジョギングやウォーキング、サイクリング、テニスにダム湖周辺を利用する人が多く見られた。



注) 令和元年度より年間利用者数の推計時に天候係数 (p7-37 3.利用者数の推計方法参照) が導入されたため、平成26年度以前の推計結果と推計方法が異なる。

図 7.6.1-1 青蓮寺ダム、ダム湖及び周辺の利用者の状況

【出典:「青蓮寺・室生・比奈知ダム湖利用実態調査業務」(令和2年3月)】



野外活動：サイクリング、キャンプ、バーベキュー、写真撮影
 施設利用：レストラン利用
 その他：工事関係、レストラン店員
 ※平成3年度は、「野外活動」「施設利用」は、「その他」として集計されている。

図 7.6.1-2 青蓮寺ダム周辺の利用形態別利用者数の状況

【参考：ダム湖利用実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1. 調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分 ^{※1} 」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日（合計7日間）に実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査（H18, 21, 26のみ実施）	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間において実施。

※1 ブロック区分：利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位
基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	各年の調査実施日等	備考
1	春季	休日	4月29日（祝日）	ただし、参加人数100人以上のイベント、悪天候、施設の休館日と重なったときは、適宜直近の日で設定
2			5月5日（祝日）	
3		平日	5月中旬の平日	
4	夏季	休日	7月最終日曜日	
5			平日	
6	秋季	休日	11月3日（祝日）	
7	冬季	休日	1月上旬の休日	

2. 調査方法

(1) 利用者カウント調査

- ・調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- ・利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- ・原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- ・各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

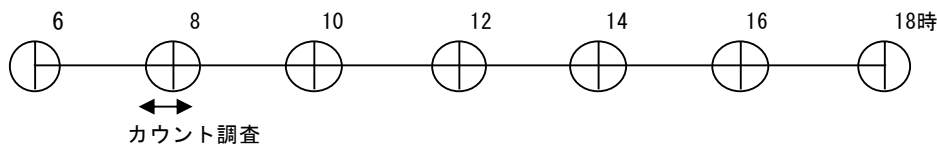


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

表-(3) 利用形態区分表

利用形態区分		対象とする利用	
陸上利用	散策、休息、花見等	観光・旅行、山菜とり、花見・紅葉・新緑見物、散策、遠足・ピクニック、休憩・トイレ利用 等	
	陸上スポーツ	テニス、サッカー、(ミニ)ゴルフ、マラソン・ジョギング、ゲートボール、サイクリング、野球、ソフトボール、その他の陸上スポーツ 等	
	その他	野外活動	キャンプ、写真撮影、写生、野外バーベキュー、昆虫採集、バードウォッチング、その他のアウトドア活動 等
		各種施設利用	レストラン、売店、ホテル、温泉、資料館、記念館、有料遊戯施設、〇〇センター(ミニSL、ゴーカート等) 等
	その他*	各種お祭り、催し物など、ダム見学等の学習活動、環境学習、コンサート、その他の陸上利用、仕事 等	
湖面利用	釣り	ボート利用	ボートに乗って釣り糸を垂れている人
		湖岸	湖岸で釣り糸を垂れている人
	遊覧	手こぎボート、サイクルボート、遊覧船	
	水上スポーツ	ヨット、水上スキー、ウインドサーフィン、漕艇、カヌー、その他の水上スポーツ	
	その他	水泳、水遊び、その他の湖面利用	

*イベントは、その内容によって利用区分することとし、例えばスポーツ大会が野球大会、カヌー大会のように他の利用区分にまたがる場合は、野球を陸上スポーツ、カヌーを水上スポーツとする。

(2) 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とする。必要なアンケート対象者数(最少サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

(3) イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(4) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間において開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

3. 年間利用者数の推計方法

各季節別に実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間の利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

また、天候による補正のために、季節毎に曜日区分ごとの晴れ・雨日数を青蓮寺ダムの最寄りの气象台の記録から求めた。調査実施日の利用者数(実測値)は天候係数を乗じて、調査実施日の曜日の晴れの日の利用者数を求めた。天候係数は観測日が晴天の場合は1、雨天の場合は晴係数1.940とした。

各季節の土曜日及び秋季と冬季の平日については調査を実施しないため、各季の実測値に曜日係数を乗ずることにより、1日あたりの利用者数を求めた。

なお、曜日係数は「土曜日=0.41×休日」、「平日=0.22×休日」とした。

各曜日の晴れの日の利用者数に雨係数0.515を乗じて、雨の日の利用者数を求めた。

各季節、各曜日の晴れ、雨の日の利用者数に最寄りの气象台の記録で求めた晴れ・雨日数を乗じて、季節ごとの曜日別利用者数を求めた。これらを合計して、季節別利用者数、並びに年間利用者数を算出した。

【参考】全国のダムの利用者数実態

令和元年度1年間の全国のダム湖利用者総数は約1,156万人と推計され、過去最多であった平成18年度の1,391万人と比較して約235万人下回る結果であった。平成9年度から平成18年度まで1,300～1,400万人程度で横ばいであったが、平成21年度以降やや減少傾向にある。1ダムあたりの利用者数(単純平均)は、平成9年度をピークに減少傾向にある。

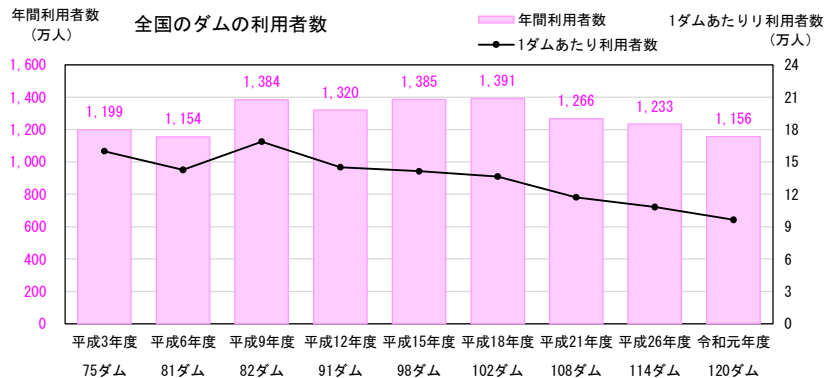


図-(1) 全国のダムの年間利用者数合計の推移

7.6.2 利用者特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査の結果に基づく、青蓮寺ダム利用者の特性は以下のとおりである。

(1) アンケートの回答者数

- ・平成26年度・・・112人
- ・令和元年度・・・144人

(2) 利用者の属性

アンケート回答者の年齢層の割合は、平成26年度は30歳代の利用者が最も多く、次いで60歳代、40歳代となっていたが、令和元年度は40歳代の利用者が最も多く、次いで30歳代、50歳代となっていた。

年齢層別利用者数割合の増減については、10歳代の利用者は増加、20歳代の利用者が1%減少、30歳代の利用者が5%減少、40歳代の利用者が7%増加、50歳代の利用者が3%増加、60歳代の利用者が8%減少となっており、平成26年調査と比較すると40歳代～50歳代の利用者の割合が増加した結果となった。

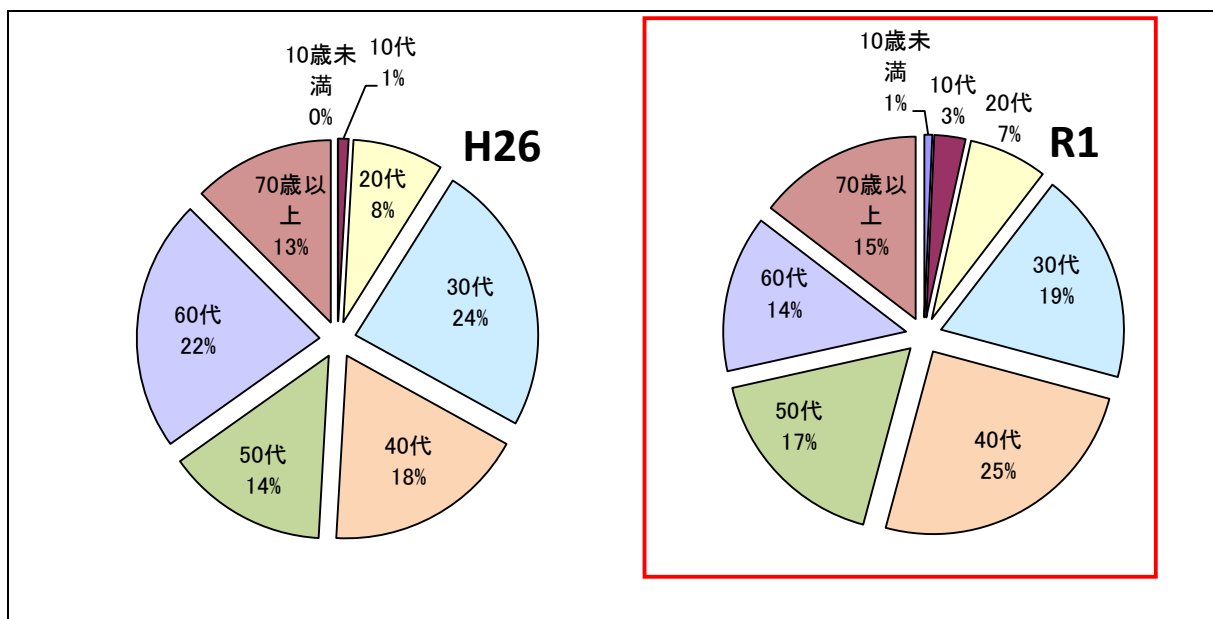


図 7.6.2-1 利用者の年齢層の割合

(3) 利用者の居住地等

アンケート回答者の居住地の割合は三重県が多く、大阪府、奈良県が続く。上位3府県で約8割を占めている。また、少数ながら静岡県、岐阜県といった遠方からの来訪者もみられる。

市町村別では三重県名張市が最も多く、平成26年度は60人、令和元年度では72人となっており、令和元年度のアンケート回答者の約6割が名張市民であった。

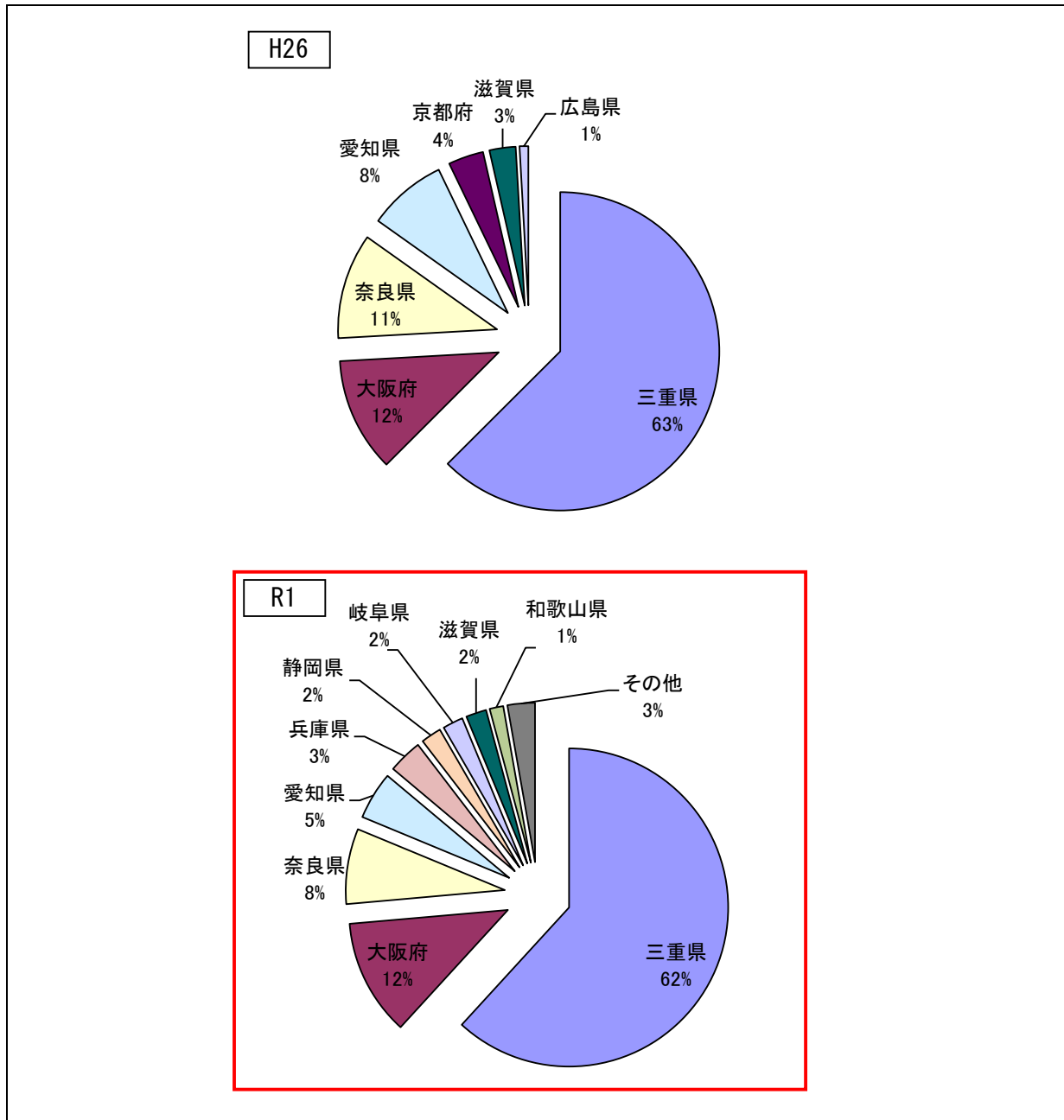
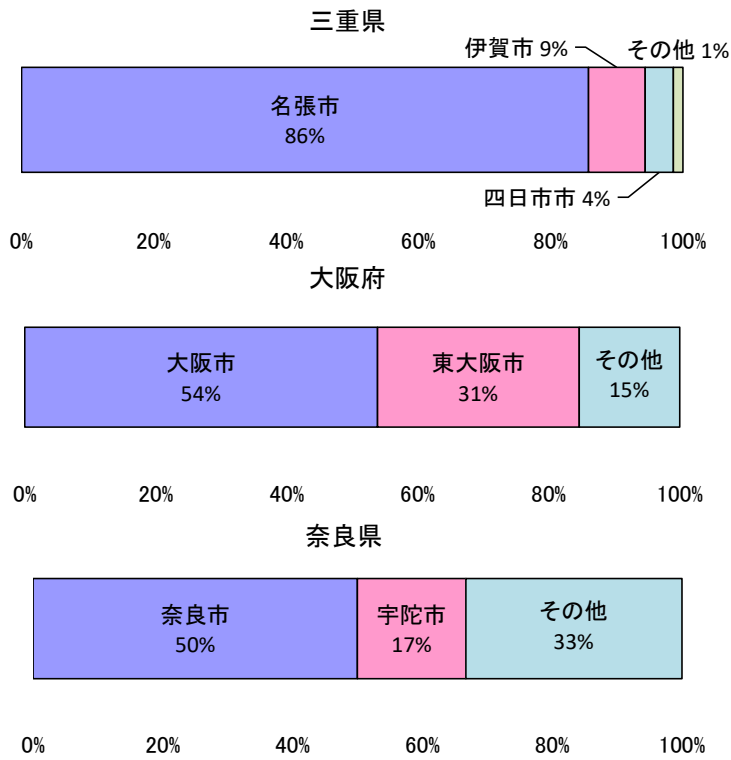


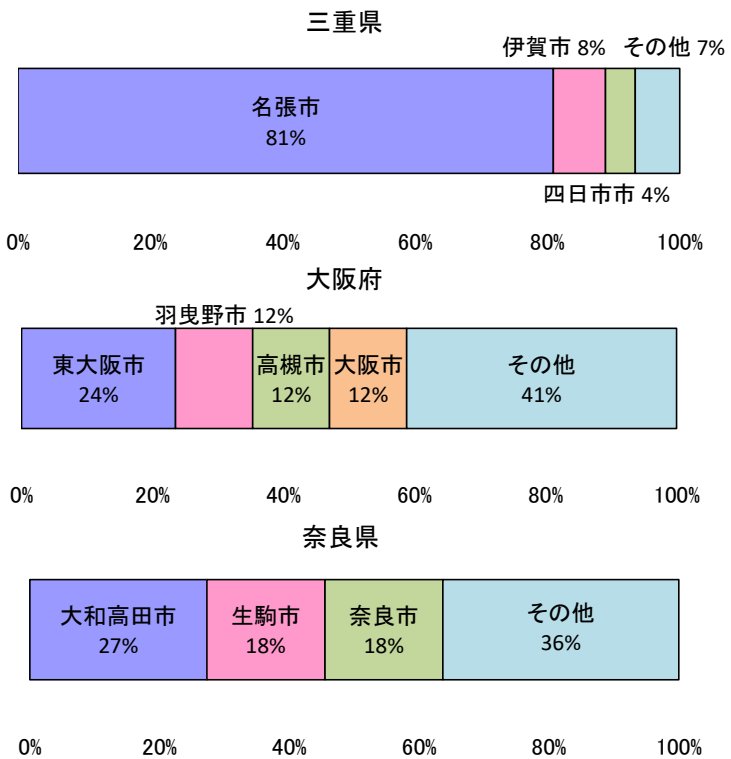
図 7.6.2-2 利用者の居住地（都道府県別）

H26



※奈良県のその他は大和高田市、大和郡山市、桜井市、曾爾村の4市村が同率3位、大阪府のその他は枚方市、八尾市の2市が同率3位

R1



※奈良県のその他は宇陀市、橿原市、広陵町が同率4位、三重県のその他は津市、鈴鹿市が同率4位、伊勢市、桑名市が同率5位、大阪府のその他は堺市、松原市、寝屋川市、吹田市、柏原市、八尾市が同率5位

図 7.6.2-3 利用者の居住地割合等(市町村別)

(4) 来訪回数

来訪回数については青蓮寺ダムを訪れた利用者のうち、約7割をリピーターが占めている。

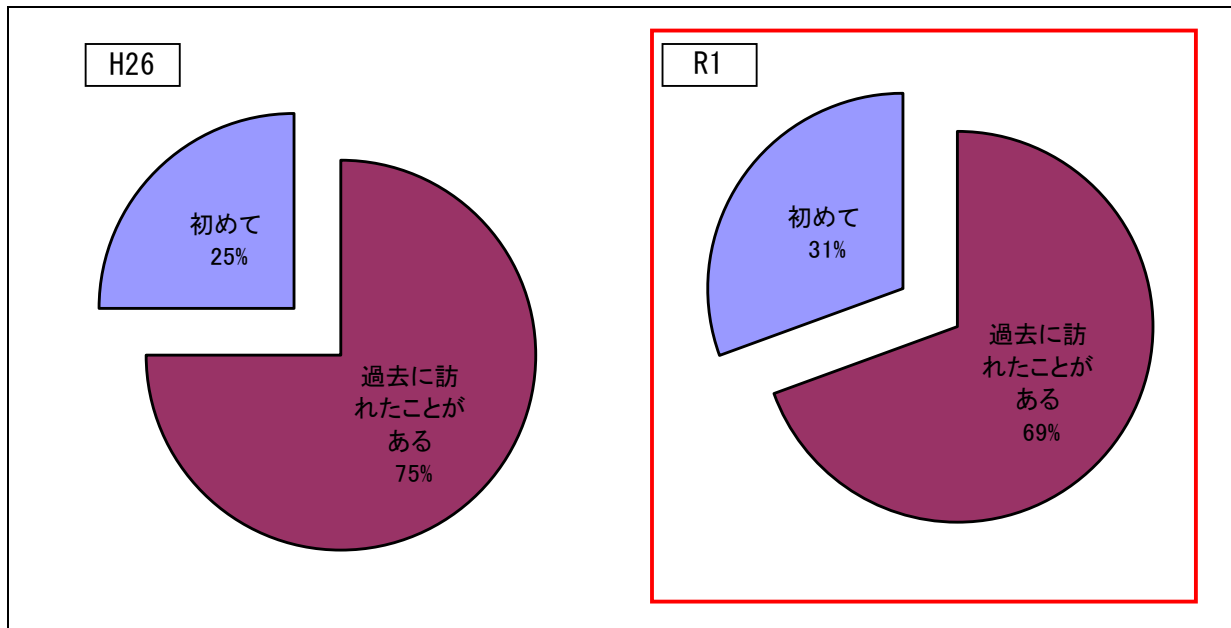


図 7.6.2-4 利用者の来訪経験

(5) 同行者

同行者については、平成26年度は家族や友人等と訪れる人がそれぞれ34%、18%、単独で訪れる人が47%を占めていたが、令和元年度は家族や友人等と訪れる人が減少しそれぞれ33%、15%であった。

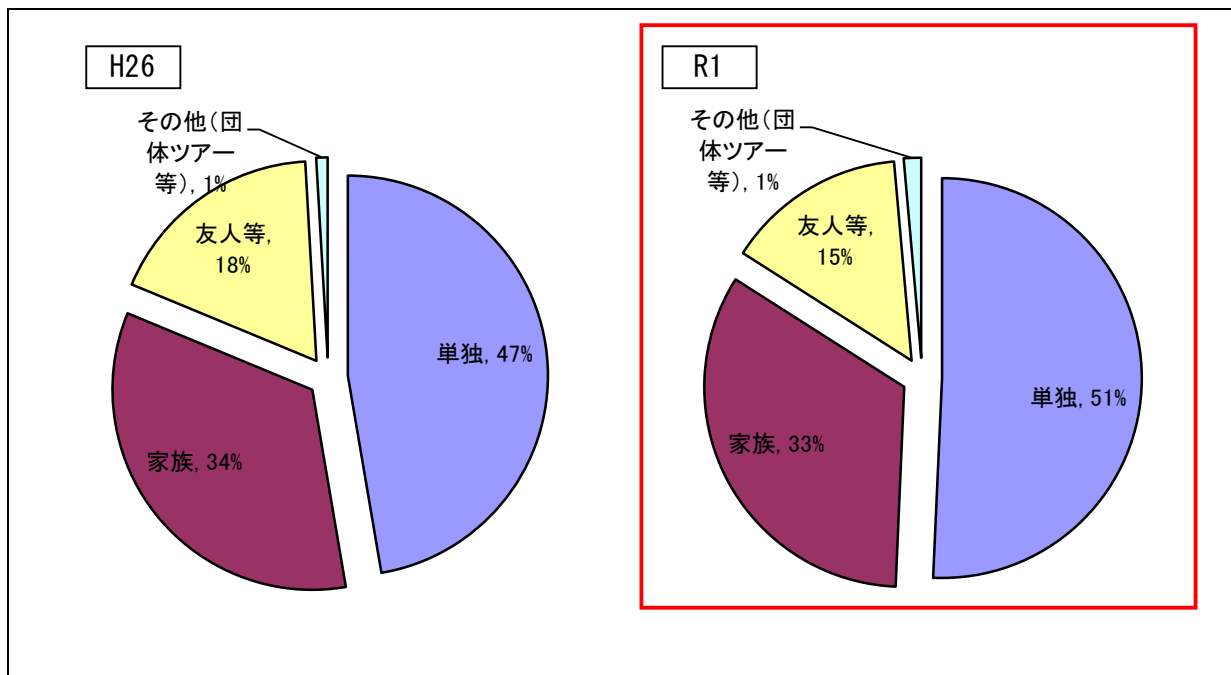


図 7.6.2-5 利用者の同行者

(6) 来訪目的

青蓮寺ダムを訪れた主な目的は、平成26年度は、「スポーツ」、令和元年度は「レジャー」の割合が最も多い。平成26年度からの推移をみると、「レジャー」は増加、「スポーツ」、「その他」はともに減少している。

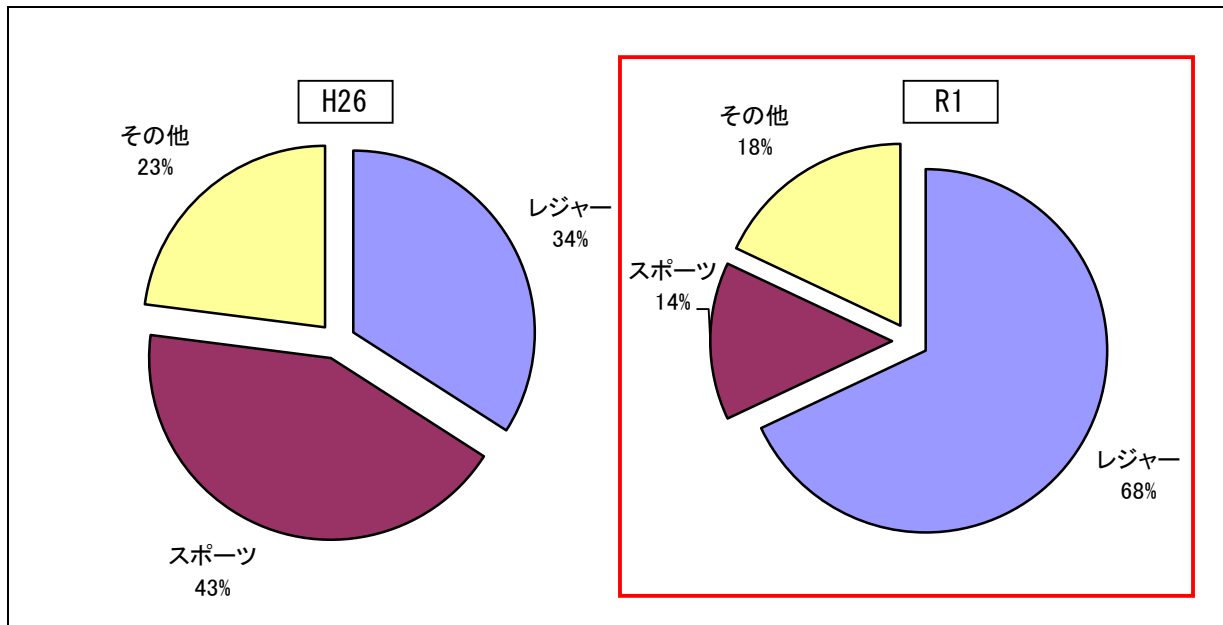


図 7.6.2-6 利用者の来訪目的

(7) 利用者の感想

青蓮寺ダムを利用した人の感想は、平成26年度では「満足」「まあ満足」が約9割を、令和元年度では約8割を占めている。「やや不満」「不満」と回答した人は6%程度で、「トイレがない」「道路の道幅が狭い」といった施設に対する不満、「ごみが多い」といった利用者マナーに関する不満があった。また、釣りに関する感想が多いのは、青蓮寺ダムの特徴と言える。

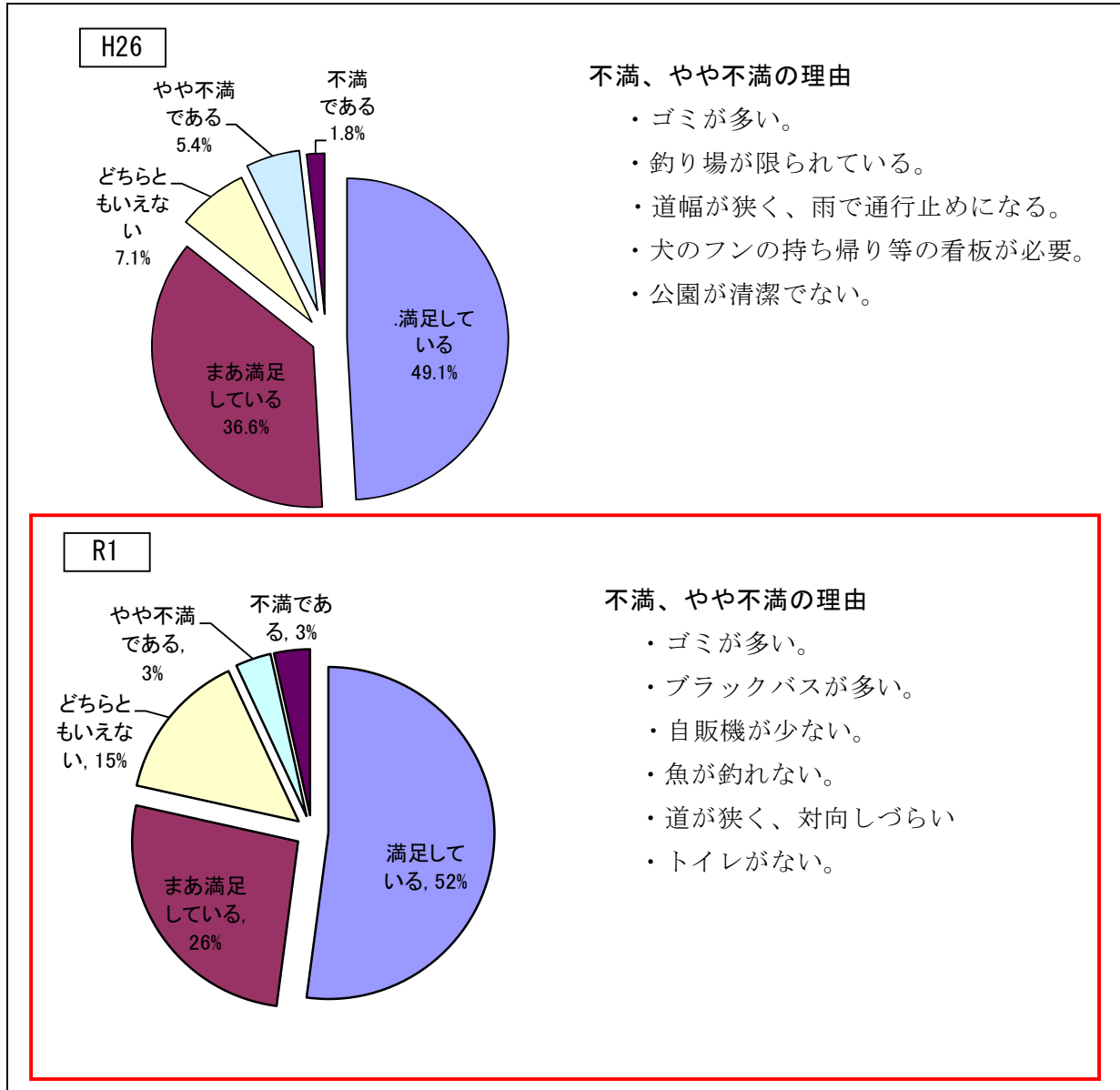


図 7.6.2-7 利用者の感想

7.7 その他関連事項の整理

7.7.1 青蓮寺ダム水源地域の特性分析

青蓮寺ダム水源地域の現状から、地域の特徴や資源、ポテンシャルと地域の活性化に向けた課題点を抽出・整理した。

① 地域の特徴や資源、ポテンシャル

i. 水源地域全体の特徴や資源、ポテンシャル

■優れた自然景観を有する自然環境が形成されている。

青蓮寺ダム水源地域の一部は、「室生・赤目・青山国定公園」や「三重県立赤目一志峡自然公園」に指定されており、美しい渓谷などの自然景観を有する自然環境が形成されている。

■集客力のある観光資源が近隣に立地している。

青蓮寺ダム水源地域内やその近隣には、知名度の高い「赤目四十八滝」や「曾爾高原」など、豊かな自然環境を活かした様々な観光資源が立地している。

■水源地域が2つの県をまたいで形成されている。

青蓮寺ダム水源地域は、三重県と奈良県の県境に位置している。そのために青蓮寺ダムは、県境を越えた自治体や住民が関わりを持っているダムである。

ii. 青蓮寺ダム周辺地域の特徴や資源、ポテンシャル

■市街地に近接した位置にある。

青蓮寺ダムの約3km北方には、人口約8万人を有する名張市の市街地が広がっており、青蓮寺ダムやダム湖は、市街地に近接した立地条件を持っている。

■ダムやダム湖へのアクセス利便性が高い。

地域の幹線道路である県道名張曾爾線が、青蓮寺ダムの堤体付近や貯水池湖岸を通り、青蓮寺ダムやダム湖へのアクセス利便性は高い。

■様々なレクリエーションを行うことのできるエリアが形成されている。

青蓮寺ダム周辺には、周辺環境整備事業による公園等に加え、宿泊施設や観光農園など民間による観光・レクリエーション施設等も整備されており、全体として様々なレクリエーションを行うことのできるエリアとなっている。

② 地域活性化に向けた課題点

i. 水源地域全体での課題点

■上流域での過疎化、高齢化が進んでいる。

青蓮寺ダム水源地域を構成する曾爾村、御杖村は、近年、過疎化・高齢化が進展しつつあり、地域の活性化を図る上での課題となっている。

ii. 青蓮寺ダム周辺地域での課題点

■レクリエーション施設等が貯水池周辺に点在しており、連携が図りにくい。

青蓮寺ダム周辺地域では、観光レクリエーション施設が貯水池周辺に分散して立地しているため、施設間の連携が図りにくい。

■湖面利用が図りにくい。

青蓮寺ダム貯水池は、洪水調節や利水補給により水位が変動することに加え、湖岸の地形が急峻で湖面にアプローチできる場所が限られるなど、湖面利用が図りにくい。

7.7.2 文化財等

青蓮寺ダム水源地域周辺には、国指定を受けた史跡美旗古墳群などの文化財が点在している。

また、青蓮寺湖周辺は、上流の香落溪、赤目四十八滝等とともに、一部地域が「室生・赤目・青山国定公園」に指定されている。また、国定公園に重複するように「三重県立赤目一志峡自然公園」も指定されており、優れた自然景観が形成される区域となっている。

表 7.7.2-1 指定文化財一覧(名張市)

区分	指定種別	名 称
国	史跡	美旗古墳群
		夏見廃寺跡
	名勝	赤目の峡谷
県	史跡	名張藤堂家邸跡
		琴平山古墳
	天然記念物	長瀬のヒダリマキガヤ
	無形文化財	松明調進行事
		八幡神社の若子祭
		火縄づくりの製作技術
市	史跡	宮山古墳
		鹿高神社境内古墳
	天然記念物	オオサンショウウオの生息地
		枝垂れ桜
		野花菖蒲の群落
		長瀬のコツブガヤ
		八幡夏秋地区のギフチョウ

【出典：名張市指定文化財一覧】

表 7.7.2-2 指定文化財一覧(曾爾村)

区分	指定種別	名 称
国	天然記念物	屏風岩、兜岳、および鎧岳
県	無形文化財	曾爾の獅子舞
	天然記念物	御葉付イチョウ
		ヒダリマキガヤ群落

【出典：奈良県指定文化財一覧】

表 7.7.2-3 指定文化財一覧(御杖村)

区分	指定種別	名 称
県	建造物	安能寺鐘楼門
	天然記念物	神末のカヤの巨木林

【出典：奈良県指定文化財一覧】

7.7.3 ダム湖周辺における不法投棄対策

青蓮寺ダムは、市街地に近いことと、ダム湖周辺の地形から不法投棄が多いダムである。不法投棄の発見・対応を目的に、管理所職員による貯水池周辺のパトロールを、週1回実施し、不法投棄防止看板及び不法投棄監視カメラも設置している。

さらに、毎年名張市全域で開催される名張クリーン大作戦に参加するなど、水源環境保全のため清掃活動を実施している。

ダム貯水池周辺のゴミの不法投棄について、巡視活動、看板設置による啓発活動及び地元地域清掃活動への参加等を行っており、ゴミの不法投棄は減少傾向にある。



ダム湖周辺の不法投棄



カメラ及び看板の設置



名張クリーン大作戦

7.8 まとめ

青蓮寺ダムの水源地域動態の評価結果のまとめと今後の方針は以下のとおりである。

<<まとめ>>

- ・青蓮寺ダム流域関連自治体の人口は、平成12年までは増加傾向であったがその後減少傾向である。世帯数は増加傾向が続いている。
- ・水源地域ビジョン等の活動として、駅伝競走、クリーン大作戦、ダム施設見学会等のイベントの開催など、地域活性化の取組みが行われている。
- ・ダム湖利用実態調査による推計年間利用者数は、令和元年度は約3万2千人で、平成12年度より減少傾向が続いているものの、スポーツ、釣り、散策などで幅広い年代に利用され、利用者の満足度は高い評価を得ている。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度は中止されたイベントが多かった。

<<今後の方針>>

- ・今後も水源地域の人口等の概要、観光施設等の水源地域動態を引き続き把握していくとともに、イベント等の機会をとらえて地域におけるダムの役割等についての広報・PRを継続して実施していく。
- ・ダム湖周辺施設を活かした活動、イベント等に積極的に取り組むとともに、水源地域ビジョンの基本方針に基づき、今後も引き続き関係自治体・地元・NPO などとともに活動を推進していく。

7.9 文献リストの作成

青蓮寺ダムの「水源地域動態」を整理するため、以下の資料、データを収集した。

表 7.9-1 「7. 水源地域動態」に使用した文献・資料リスト

No	文献・資料名	発行者	発行年月	備考
7-1	平成28年度 青蓮寺ダム定期報告書	木津川ダム総合管理所	平成29年3月	
7-2	青蓮寺ダム年次報告書(H28～R2)	木津川ダム総合管理所	平成28年～令和2年	
7-3	青蓮寺ダム管理年報(H28～R2)	木津川ダム総合管理所	平成28年～令和2年	
7-4	三重県観光統計(H17～R2)	三重県	平成18年～令和3年	
7-5	青蓮寺ダム管理所概要 (パンフレット)	青蓮寺ダム管理所	令和元年1月	
7-6	平成15年度 水源地域(青蓮寺・比奈地)ビジョン検討報告書	財団法人 水資源協会	平成16年3月	
7-7	青蓮寺・室生・比奈知ダム湖利用実態調査業務報告書	木津川ダム総合管理所	令和2年3月	
7-8	令和元年度 河川水辺の国勢調査結果 [ダム湖版](ダム湖利用実態調査編)	国土交通省 水管理・国土保全局	令和3年2月	
7-9	木津川ダム総合管理所HP	木津川ダム総合管理所	—	
7-10	水源地域自治体HP	水源地域各自治体	—	

表 7.9-2 「7. 水源地域動態」に使用したデータ

No	データ名	データ提供者または出典	発行年月	備考
7-11	国勢調査(人口・世帯数)	総務省統計局	昭和45年～令和2年	
7-12	就業者数(市村別)	総務省統計局	昭和45年～平成27年	
7-13	土地利用面積(S40～H27)	奈良県統計年鑑 名張市統計書	昭和40年～平成27年	
7-14	観光入込客数(H17～R2)	三重県観光統計資料 曾爾村及び御杖村観光入込客数統計資料	平成17年～令和2年	
7-15	青蓮寺ダム管理年報(H28～R2)	木津川ダム総合管理所	平成28年～令和2年	
7-16	名張市指定文化財一覧	名張市	令和2年	
7-17	奈良県指定文化財一覧	奈良県	令和2年	
7-18	令和2年の活動状況に関する資料	青蓮寺ダム管理所	—	